

令和 5 年度
第 3 回 足立区政に関する世論調査
(小規模調査)
調査報告書

《文化芸術事業に対する意識、活動等状況調査について》

足立区 政策経営部 区政情報課

令和 6 年 3 月発行

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の時期	3
3 今回の区政モニター数、回答者数	3
4 回答者の構成と属性	3
5 報告書の見方	5
第2章 調査結果7つのポイント及び今後の方針	7
第3章 調査結果の詳細	21
1 文化芸術への関心の有無	27
2 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加経験	29
3 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験	32
4 趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動状況	35
5 趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動をおこなっていない理由	37
6 文化芸術について感じていること	38
7 地域の伝統芸能への関心の有無	39
8 地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無	41
9 地域の伝統芸能の体験意向	44
10 伝統芸能を体験する場合に望む機会	46
11 伝統芸能について区から情報発信してほしい内容	47
12 伝統芸能「文楽」の認知度	49
13 シアター1010で「文楽」公演が行われたことの認知度	51
14 「文楽」公演の鑑賞	53
15 「文楽」公演を鑑賞したいと思わない理由	54
16 有形文化財である古民家への興味の有無	55
17 区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思うか	56
18 区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思わない理由	57
19 有形文化財の情報発信や機会の提供	58
20 古民家についての情報発信を充実させるために必要な区の取り組み	60
21 古民家に足を運んでもらうために必要な区の取り組み	62
22 足立区立郷土博物館の認知度	63
23 「琳派の花園あだち」や区ホームページの「電子展覧会」の認知度	65
24 郷土博物館に行きたいと思うか	67
25 郷土博物館に行く目的	69
26 郷土博物館へ行きたいと思わない理由	70
27 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え	71
第4章 調査票	72

第 1 章 調査の概要

1 調査の目的

足立区では、令和2年3月に「足立区文化芸術推進計画」を策定し、当該計画に基づき、文化芸術施策や事業を展開しています。

今回、足立区の文化芸術関連事業に対する区民のみなさまの意識や文化芸術活動等の状況をお伺いし、今後に活かしていくため、本アンケートを実施しました。

2 調査の時期

令和6年1月24日（水）～2月13日（火）

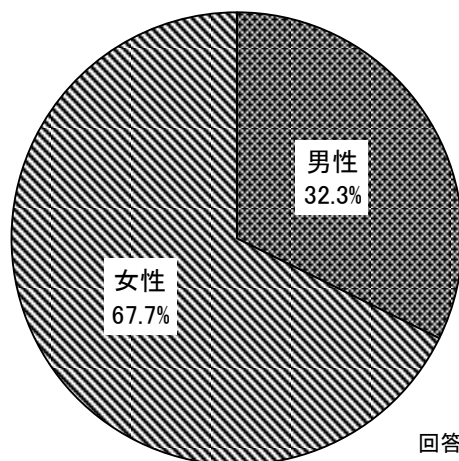
3 今回の区政モニター数、回答者数

区政モニター数	199人
回答者数	195人（回答率98.0%）
〔内訳〕	
郵便回答	44人（22.6%）
インターネット回答	151人（77.4%）

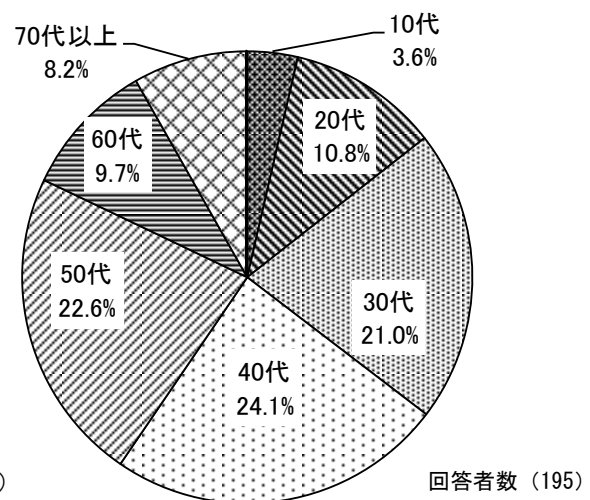
4 回答者の構成と属性

（1）性別、年代別割合（全体）

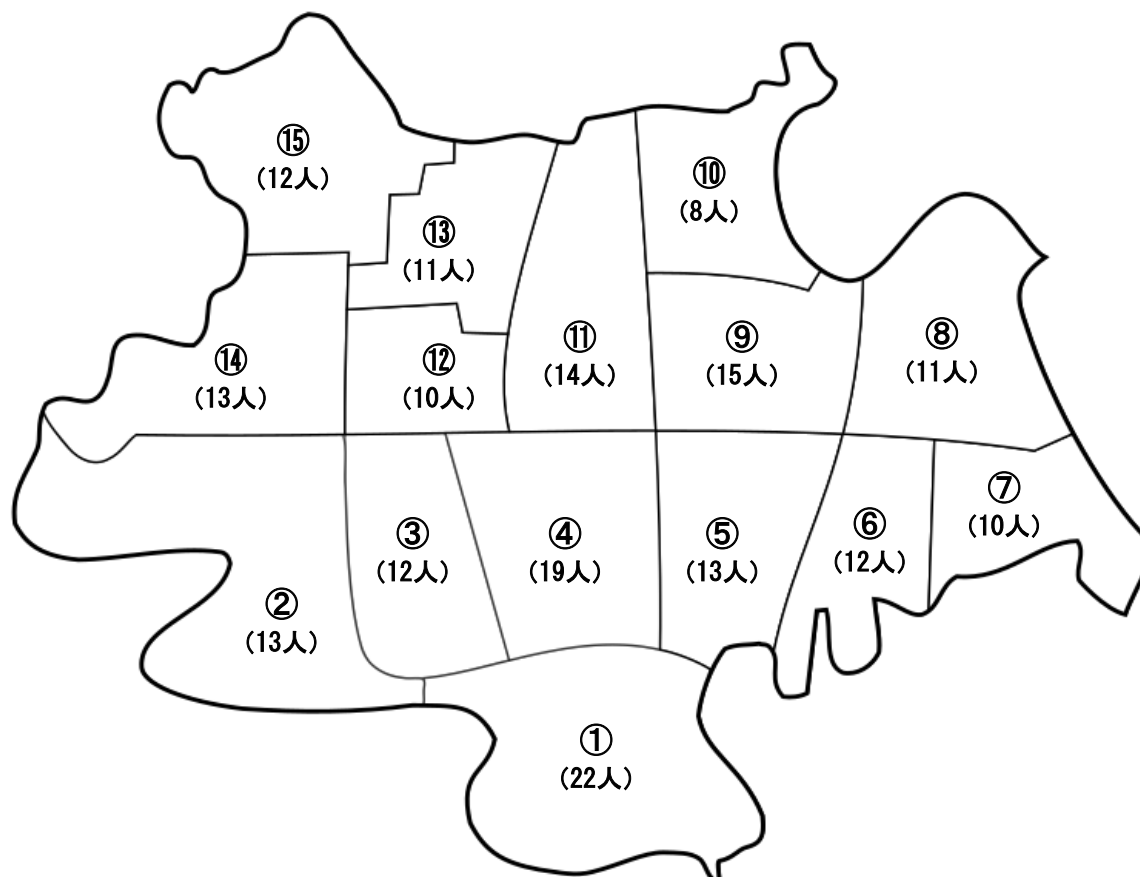
【性別】



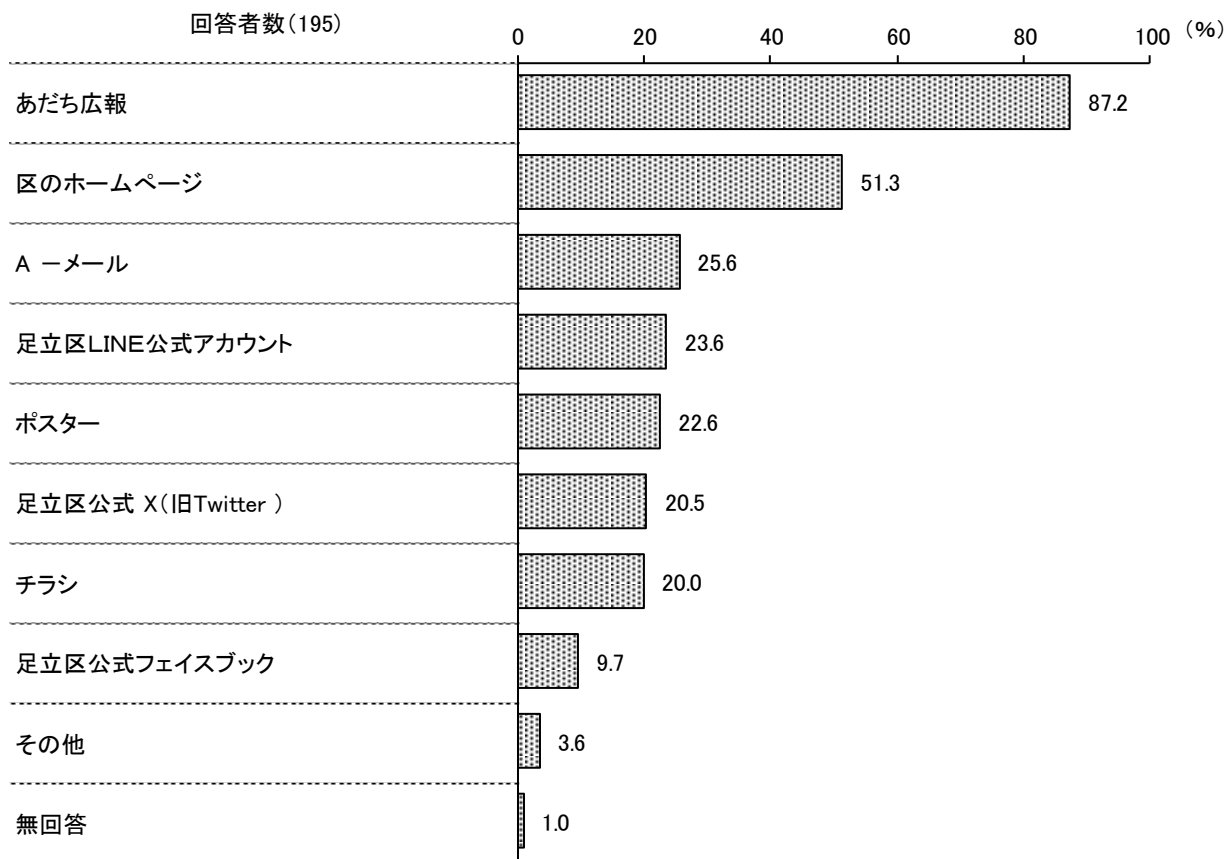
【年代】



(2) 地域別人数 (上段：地域番号、下段：人数)



(3) 足立区に関する情報の入手手段



5 報告書の見方

- (1) 回答比率 (%) は、その設問の回答者を基礎として算出しました。小数点以下第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が 100.0%に満たない、または上回ることがあります。
- (2) 複数回答の設問は、すべて比率を合計すると 100.0%を上回ることがあります。
- (3) 本報告書のグラフ表記について、前問の回答に応じて回答者を限定している該当設問において、回答者数が 100 人に満たない場合は、「年代別」や「年代層別」のグラフは割愛して、全体結果のみの表記と分析としております。

第2章 調査結果7つのポイント及び今後の方針

《 7つのポイント 》

- 1 古民家を「観たいと思う」は80%を超え、ほぼ全ての年代で70%を超えた
- 2 郷土博物館へ「行きたいと思う」は60%を超える
- 3 お囃子など地域の伝統芸能への関心がある人は82%から68.2%へ13.8ポイント減少し、触れたことがある人は49.6%と、5.1ポイント増加した。区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う人は60%であり4.4ポイント増加した
- 4 趣味やサークルなどの活動をしている人は16.9%から27.2%へ10.3ポイント増加した
- 5 子どもを対象にした文化芸術事業への評価は39.1%から64.1%へ25ポイント増加した
- 6 「文楽」を鑑賞したい人は60%を超えるが、「シアター1010 文楽公演」の認知度は20%程度
- 7 伝統芸能や古民家の情報は、あだち広報やホームページでの特集記事を期待している人が70%を超える

1 調査結果7つのポイント

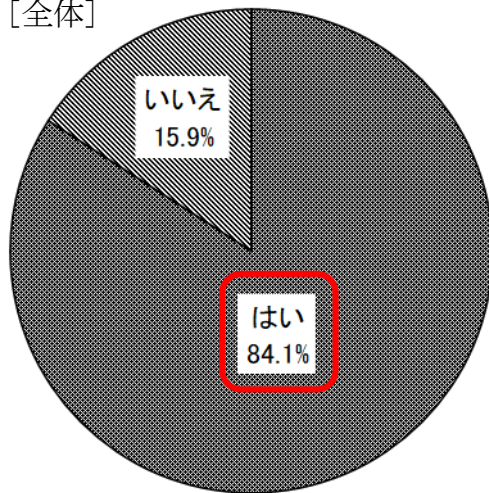
(1) 古民家を「観たいと思う」は80%を超え、ほぼ全ての年代で70%を超えた

文化財などに指定された区の古民家を「観たいと思う」と答えた人は84.1%であった。なお、年代別に分析したところ、10代～70代とほぼ全ての年代で70%を超えていた。

また、観たいと思わない15.9%のうちで、思わない理由を尋ねたところ「関心がないから」が71.0%と最も高く、次いで「文化財のことがよくわからないから」が35.5%であった。

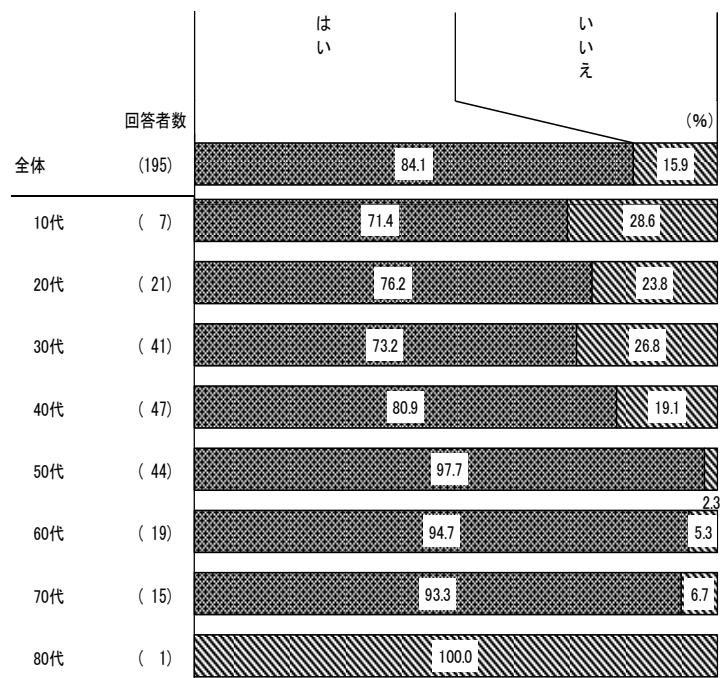
＜機会があれば区の文化財に指定登録された古民家を観たいか＞

[全体]

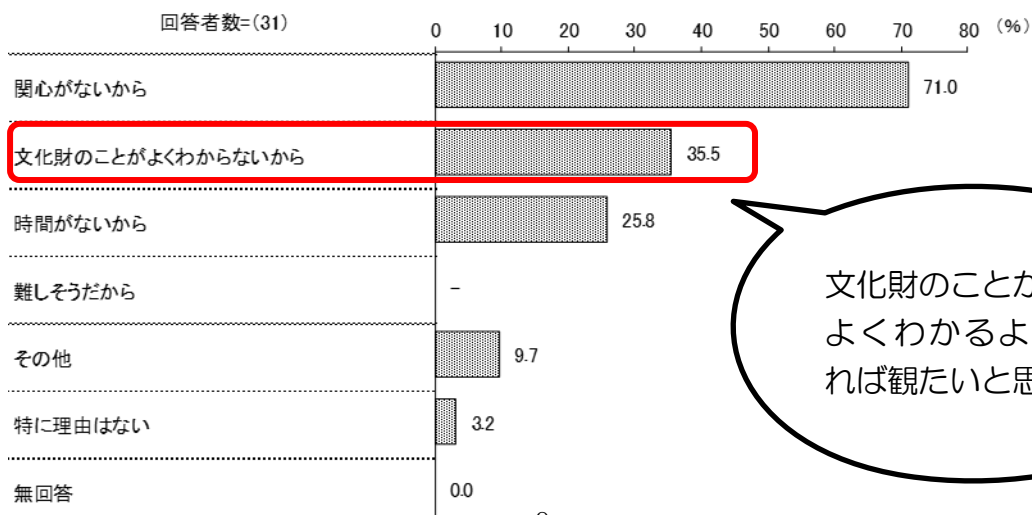


回答者数= (195)

[年代別]



＜古民家を観たいと思わない理由＞



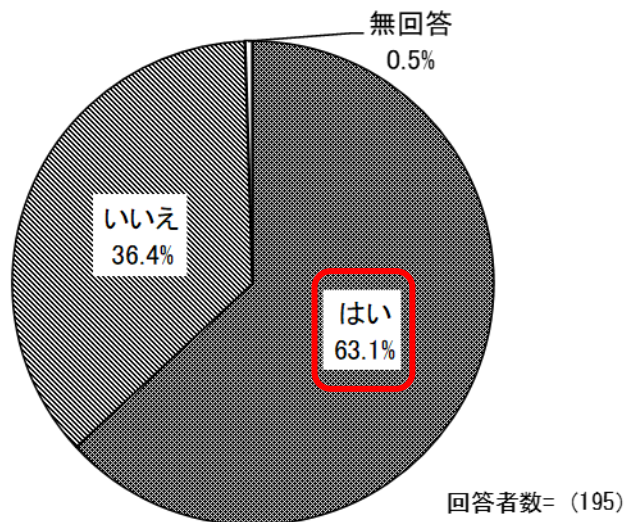
文化財のことがよくわかるようになれば観たいと思う

(2) 郷土博物館へ「行きたいと思う」は60%を超える

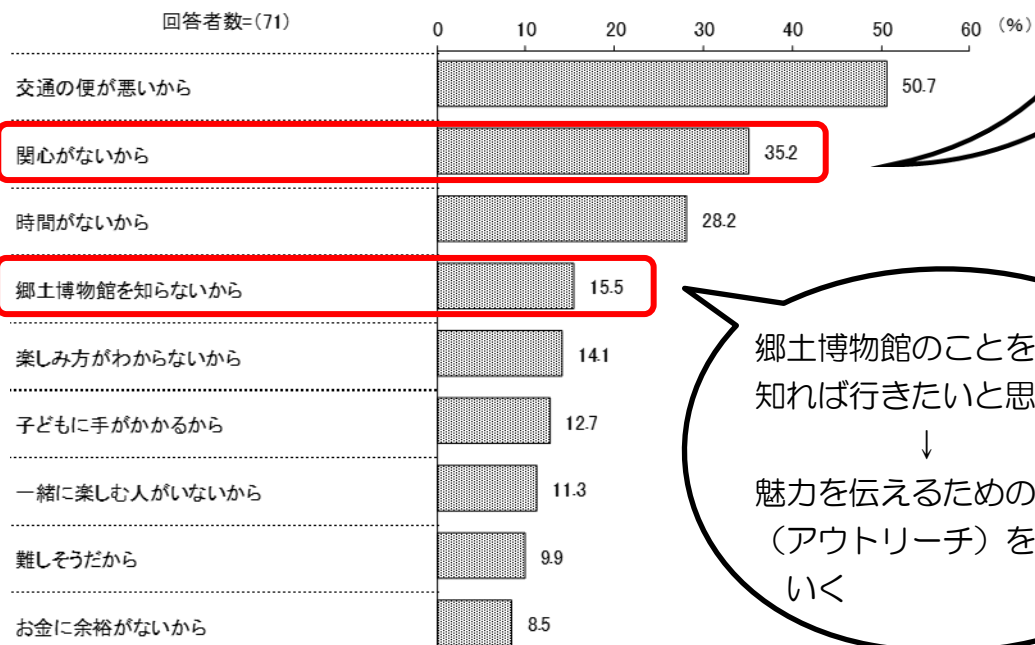
郷土博物館に行きたいと答えた人は63.1%であった。

なお、「行きたいと思わない」と答えた36.4%へ、その理由を尋ねたところ「交通の便が悪いから」が50.7%と一番高かった。また、「郷土博物館のことを知らないから」が15.5%であった。

<郷土博物館へ行きたいと思うか>



<郷土博物館へ行きたいと思わない理由>



リニューアルを契機に無関心層に関心を持ってもらう取り組みが必要

郷土博物館のことを知れば行きたいと思う
↓
魅力を伝えるための出張展示（アウトリーチ）を行っていく

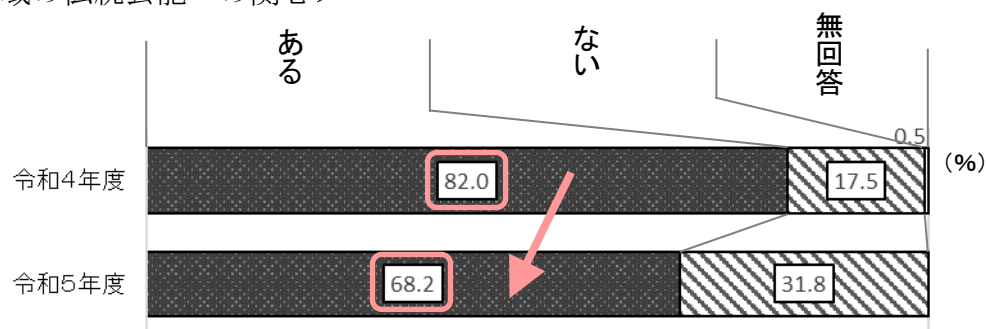
**(3) お囃子など地域の伝統芸能への関心がある人は82%から68.2%に13.8ポイント減少し、触れたことがある人は49.6%と、5.1ポイント増加した。
区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う人は60%であり4.4ポイント増加した**

地域のお囃子や獅子舞などの伝統芸能に関心があると回答した人は68.2%であり、令和4年度の82.0%から13.8ポイント減少した。

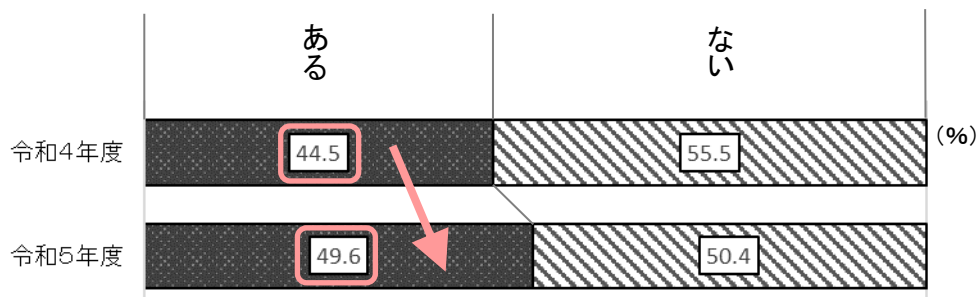
関心があると回答した人のうち、地域の伝統芸能を観たり、聴いたり、体験したことがあると答えた人は49.6%であり、令和4年度の44.5%から5.1ポイント増加した。

また、「区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う」と答えた人は60.0%であり、令和4年度の55.6%から4.4ポイント増加した。

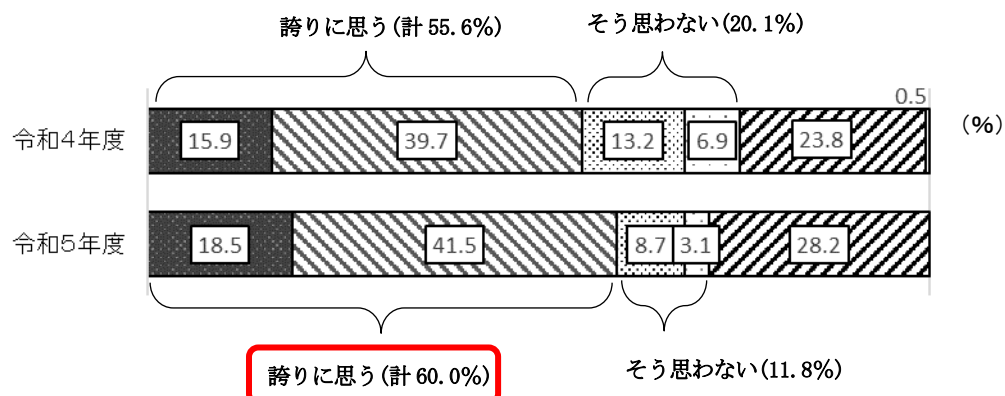
＜地域の伝統芸能への関心＞



＜地域の伝統芸能に関心があるうち、観たり、聴いたりした経験＞



＜区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思うか＞

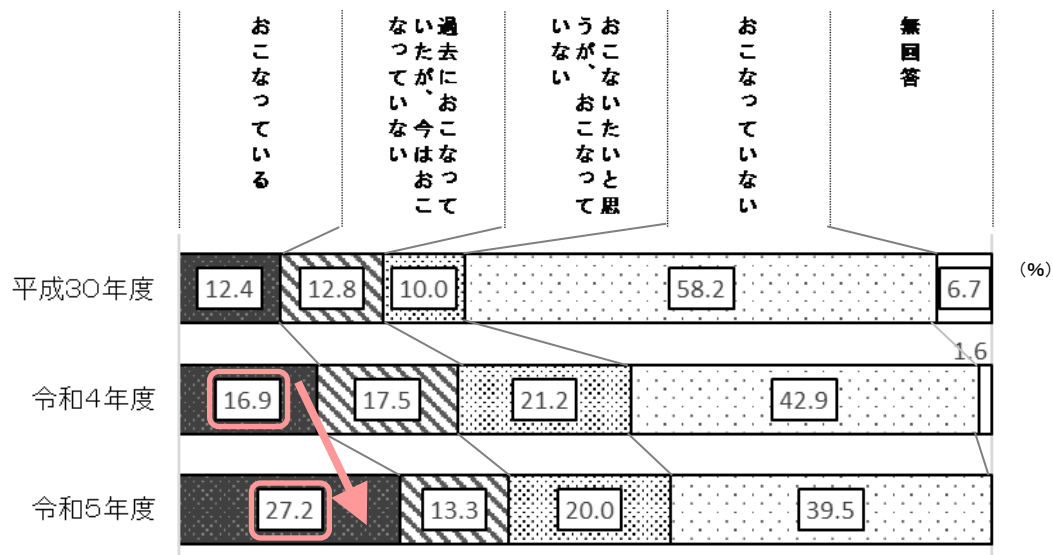


(4) 趣味やサークルなどの活動をしている人は16.9%から27.2%～10.3ポイント増加した

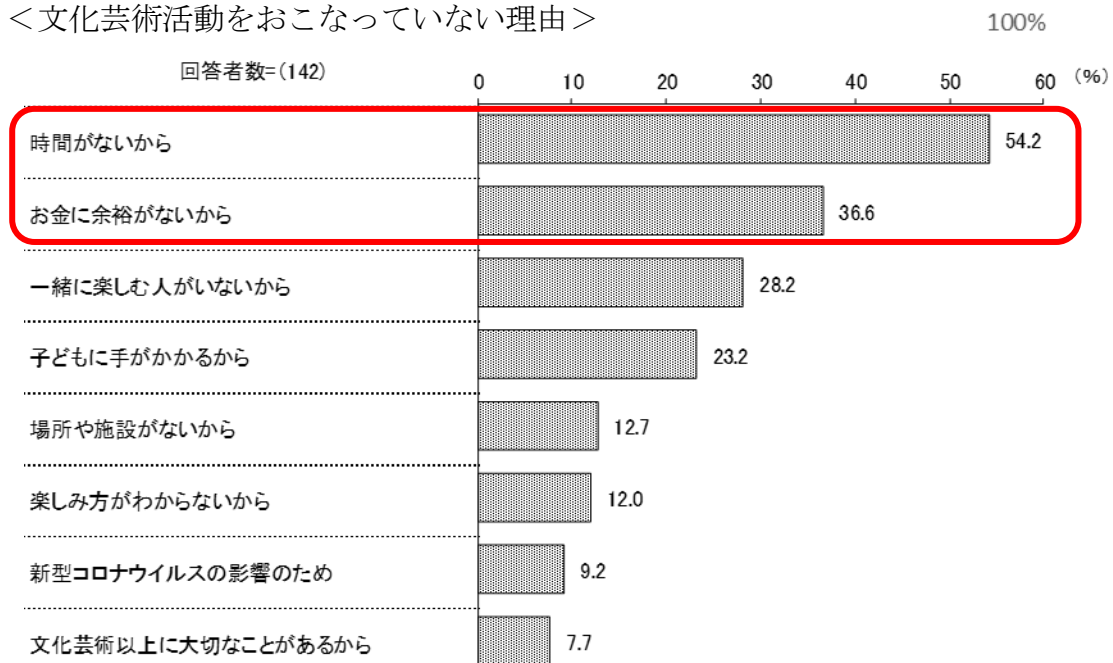
趣味やサークル活動など芸術活動に関する普段の状況を「活動している」と答えたのは令和4年度の16.9%と比較すると、10.3ポイント増加し、令和5年度は27.2%であった。なお、活動していない理由は「時間がないから」が54.2%と一番多く、次いで「お金に余裕がないから」が36.6%、であった。

なお、コロナ禍前のH30に行った3分野アンケートでは、12.4%の人が「活動している」と答えている。今回の調査と単純に比較することはできないが、コロナ禍による区民の文化芸術活動の影響は、かなり改善していると言える。

<趣味やサークルなど芸術活動に関する普段の活動状況>



<文化芸術活動をおこなっていない理由>

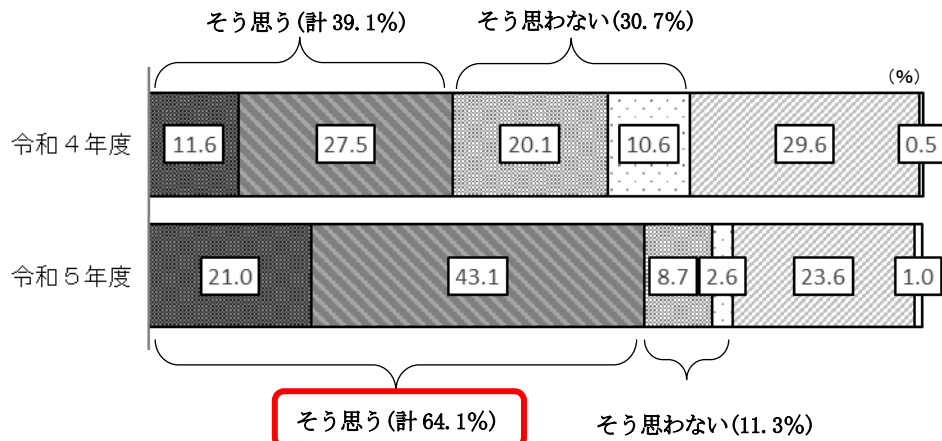


(5) 子どもを対象にした文化芸術事業への評価は 39.1%から 64.1%へ 25 ポイント増加した

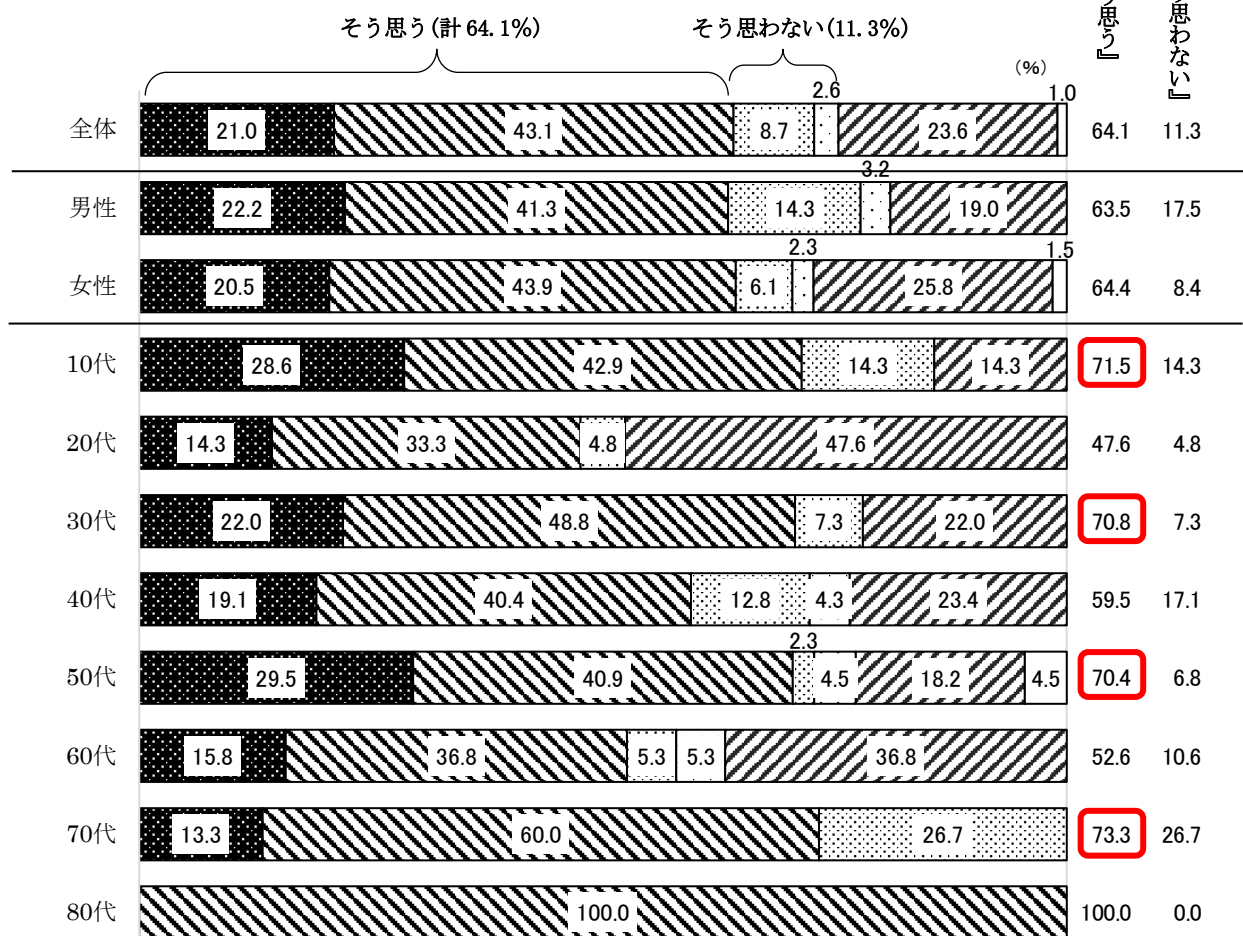
足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できると回答した人は令和4年度の39.1%と比較して25.0ポイント増加した64.1%であった。

子どもに対する文化芸術事業への評価を、年代別に分析したところ、10代、30代、50代、70代で70%を超え、子育て世代からの評価も高い。

＜足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できるか＞



＜性別・年代別／足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できるか＞



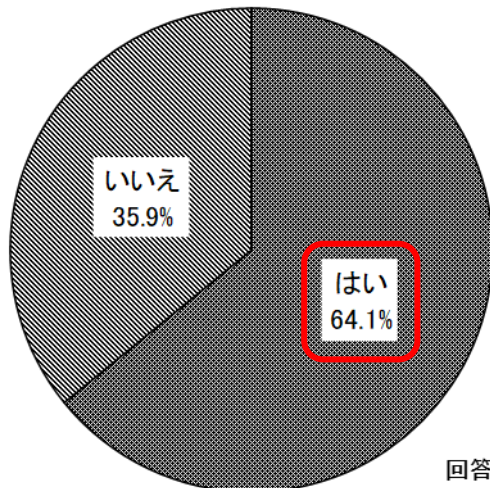
(6)「文楽」を鑑賞したい人は60%を超えるが、「シアター1010 文楽公演」の認知度は20%程度

シアター1010で「文楽」公演を行ったことを知っている人は22.1%であった。

なお、普段の区の情報入手手段とのクロス集計では、「足立区公式X（旧 Twitter）」が10.0%と最も低く、「チラシ」が33.3%で最も高かった。

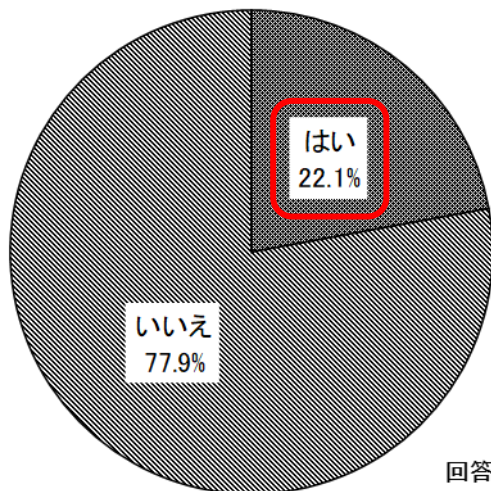
また、機会があれば、「文楽」を鑑賞したいと答えた人は64.1%であった。

<機会があれば文楽鑑賞をしたいか>



回答者数= (195)

<シアター1010で「文楽」公演を行ったことを知っているか>



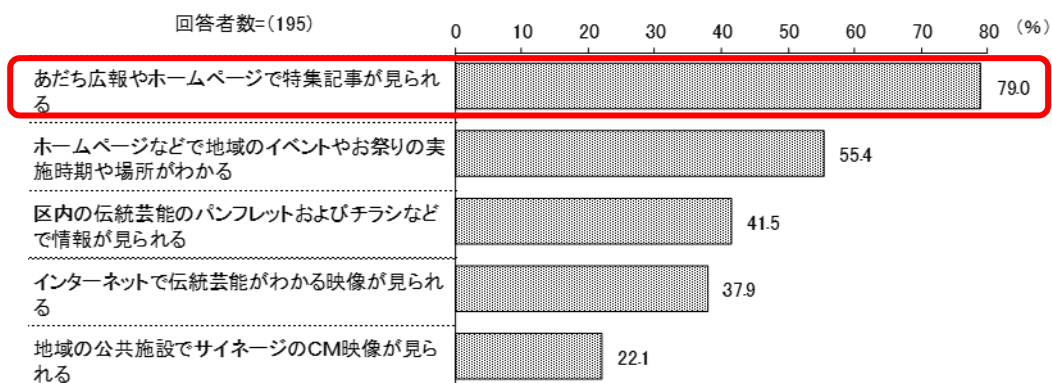
回答者数= (195)

(7) 伝統芸能や古民家の情報は、あだち広報やホームページでの特集記事を期待している人が70%を超える

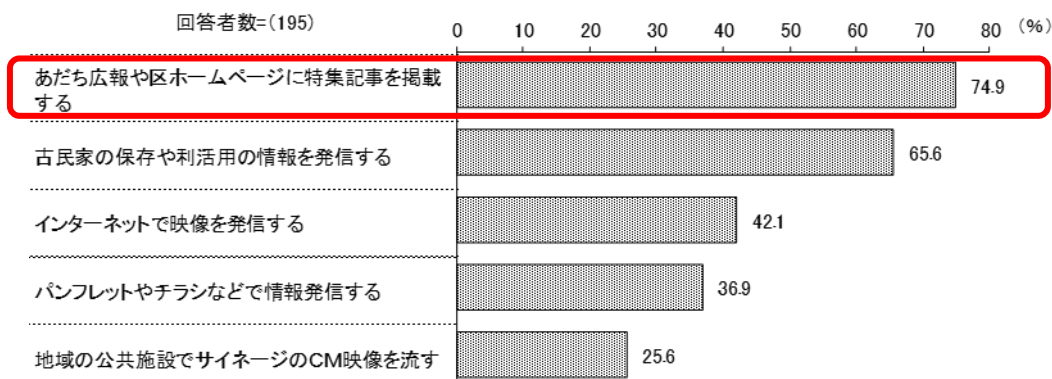
伝統芸能について、区からどのような情報発信があるとよいか調査したところ、「あだち広報やホームページで特集記事が見られる」が79.0%で一番多かった。

また、古民家についての同様の調査でも、「あだち広報や区ホームページに特集記事を掲載する」が74.9%で一番多かった。

<期待する区の情報発信（地域の伝統芸能）>



<期待する区の情報発信（古民家）>



2 今後の方針

(1) 古民家への興味と情報発信

ア 文化財の保護と利活用に関する行動計画の策定

現状	① 「有形文化財である古民家に興味がある」と答えた人は 82.1%であった。 ② 「機会があれば古民家を観たいと思う」と答えた人は 84.1%であり、年代別に分析したところ、10～70代とほぼすべての年代で 70%を超えていた。
課題	① 区民の文化財への関心が高い一方で、区には、文化財の保護と利活用に関する方針を明確に示すものがない。
今後の取り組み	① 文化財の保護と利活用の指針となる行動計画を令和6年度中に策定し、貴重な文化財の滅失・散逸等を防止する。

イ 文化財周知に向けた取り組み

現状	① 「古民家を観たいと思わない」と答えた 15.9%のうちで、観たいと思わない理由は「関心がないから」が 71.0%と最も高かった。次いで「文化財のことがよくわからないから」が 35.5%であった。
課題	① 文化財のことがよくわからないことを理由に古民家を観たいと思わないと感じる区民が多く、古民家のことがわかるような取り組みが必要である。
今後の取り組み	① 古民家を観たいと思わない理由が「関心がないから」「よくわからないから」であることから、区の文化財の概要がわかる「文化財デジタルマップ」のさらなる周知をすすめる。また、現在「文化財デジタルマップ」に掲載していない文化財も、掲載に関する許可を所蔵者から得られるよう努めていく。

ウ 古民家の情報発信の工夫

現状	① 「区が発信する古民家などの有形文化財の情報発信や機会の提供が十分だと思う」と答えた人は 36.9%であった。 ② 「区が発信する古民家などの有形文化財の情報発信や機会の提供が十分だと思う」と「区の情報をどのような手段で入手しているか」とのクロス集計を行ったところ、「チラシ」で情報収集している人の中で情報発信が十分だと思っている人が最も高く 53.8%であった。 ③ 「区 LINE 公式アカウント」で情報収集している人の中で、情報発信が十分だと思っている人は、クロス集計のなかで最も低い 30.4%であった。次いで低いのが「区公式 X (旧 Twitter)」で情報収集している人の 35.0%である。
課題	① 普段「チラシ」で情報収集する人よりも、普段「SNS」で情報収集を行う人の方が、古民家の情報発信を評価していない。

今後の取り組み	① 区LINE 公式アカウントや区公式 X (旧 Twitter) など SNS の発信で、古民家など文化財へ興味を持つ機会を増やしていく。また、郷土博物館の出張展示など、古民家の情報に触れる機会を検討していく。
---------	--

(2) 郷土博物館の認知度と情報発信

ア 郷土博物館の認知度と関心

現状	① 郷土博物館の認知度は 51.3%であった。 ② 「琳派の花園 あだち」や区ホームページの「電子展覧会」の認知度は 21.5%であった。 ③ 「『琳派の花園 あだち』や区ホームページの『電子展覧会』の認知度」と「区の情報をどのような手段で入手しているか」とのクロス集計では、普段「区LINE 公式アカウント」で情報収集している人が最も認知度が高く 34.8%であった。次いで「区公式フェイスブック」が 31.6%であった。 ④ クロス集計の認知度で最も低かったものは、普段「区公式 X (旧 Twitter)」で情報収集をしている人で 15.0%であった。SNS での発信も種類によって全く異なる結果であることがわかった。
課題	① 郷土博物館への無関心層に関心を持ってもらうような取り組みが必要
今後の取り組み	① 郷土博物館への関心がない方に関心を持ってもらえるよう、千住宿開宿 400 年を契機としたグッズ作成などにも郷土博物館をPRするものを取り込んでいく。 ② 郷土博物館への関心がある方には、さらなる魅力を感じてもらえるよう、令和7年4月に予定しているオープニングイベントを契機に、千住宿開宿 400 年を盛り上げる展示などを検討し、千住宿開宿 400 年に向けた機運の醸成を図る。

イ 郷土博物館への興味の創出とPR

現状	① 「郷土博物館へ行きたいと思う」と答えた人は、63.1%であった。 ② 「郷土博物館へ行きたいと思わない」と答えた 36.4%へ、その理由を尋ねたところ、「交通の便が悪いから」が最も高く 50.7%であった。また、「郷土博物館のことを知らないから」が 15.5%であった。 ③ 「『琳派の花園 あだち』や区ホームページの『電子展覧会』の認知度」と「郷土博物館へ行きたいか」をクロス集計したところ、『琳派の花園 あだち』や『電子展覧会』を知っている人のうち、78.6%が「行ってみたい」と答えていた。「行ってみたい」と思う 63.1%と比較すると、『琳派の花園 あだち』や『電子展覧会』を知っている方が、「行きたい」と思う人が 15.5 ポイント高い。
課題	① 「郷土博物館へ行きたくない」理由の 15.5%は「郷土博物館のこと

	を知らないから」であったため、郷土博物館のことがわかる取り組みが必要である。 ② 郷土博物館へ行きたいと思っている方を 63.1%から増やし、来館したい気持ちを継続してリニューアル後にお越しいただけるよう、魅力ある改修と継続した事業の展開が必要である。
今後の取り組み	① 「電子展覧会」の拡充やマンガ本「ビビビ美アダチ」の販売など、郷土博物館を知らない方でも郷土博物館に興味を持ってもらえるよう、効果的な情報発信に努める。また、出張展示のようなアウトリーチを行い、来館のきっかけづくりに取り組む。 ② 出前講座や出張展示などで千住宿開宿 400 年を見据えた事業展開を行うとともに、リニューアル後の展示を活用し、来館の動機づけとなるような魅力ある企画展を実施する。

(3) 地域の伝統芸能の保存、継承と活用・活性化

ア 地域の伝統芸能を知る機会の提供

現状	① 地域の伝統芸能へ「関心がある」と答えた人は 68.2%であったが、関心があっても「観たり、聴いたり、体験したことがある」と答えた人は 49.6%であり、関心があっても半数は触れていない。 ② 地域の伝統芸能を「やってみたい」と答えた人は 43.1%であり、そのうち、「やるとしたらどのような機会を望むか」の問いでは、「地域のお囃子や獅子舞などへの参加」と「家の近くの公共施設（地域学習センターなど）で伝統芸能の体験講座」が共に 59.5%で最も多かった。
課題	① 地域内などで身近に感じられる体験を提供する必要がある。
今後の取り組み	① お囃子などの演奏の機会を千本桜まつりや、しょうぶまつり、区民まつり等のイベントで提供し、区民が自身の地域の団体の活動を知る機会を創出していく。

イ 伝統芸能に関心がある層へ届く情報発信

現状	① 「伝統文化について区からどのような情報発信があるとよいか」の問いには「あだち広報やホームページで特集記事が見られる」が最も多く、79.0%であった ② 「伝統文化について区からどのような情報発信があるとよいか」と「区の情報をどのような手段で入手しているか」とのクロス集計では、普段「チラシ」で情報収集している人が「あだち広報やホームページで特集記事が見られる」とよいと思っている割合が 87.2%と最も高かった。 ③ 普段情報収集しているすべての手段で、「広報やホームページでの特集記事」を期待しているという回答が 80%前後と高い数値であった。
----	--

課題	① 関心のある層へ知りたい情報が到達する為の取り組みが必要である。
今後の取り組み	① 郷土芸能大会の特集映像を「動画 de あだち」に加え、ビュー坊テレビで発信するなど、日常のなかで興味を持つきっかけづくりを行う。 なお、伝統芸能の技術継承等のため、令和6年度も伝統芸能等の映像化を行う。

第3章 調査結果の詳細

設問体系と回答の概要

- 1 文化芸術への関心の有無** P27
- (1) 「関心がある」 89.7%
- (2) 「関心がない」 9.7%
- 2 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加経験** P29
- (1) 「ある」 50.8%
- (2) 「ない」 48.7%
- 3 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験** P32
- (1) 「観たり・聴いたりした」 67.2%
- (2) 「したかったが、できなかった」 20.5%
- 4 趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動状況** P35
- (1) 「活動していない」 39.5%
- (2) 「活動している」 27.2%
- 5 趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動をおこなっていない理由** P37
- (1) 「時間がないから」 54.2%
- (2) 「お金に余裕がないから」 36.6%
- 6 文化芸術について感じていること** P38
- 「ア 足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できる」
- (1) 「そう思う (計)」 64.1%
- (2) 「そう思わない (計)」 11.3%
- 「イ 足立区は文化芸術活動の成果を発揮できる機会が十分にある」
- (1) 「そう思う (計)」 52.3%
- (2) 「そう思わない (計)」 26.1%
- 「ウ 足立区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う」
- (1) 「そう思う (計)」 60.0%
- (2) 「そう思わない (計)」 11.8%
- 「エ 文化芸術に関する区の情報発信に満足している」
- (1) 「そう思う (計)」 46.7%
- (2) 「そう思わない (計)」 33.9%

「オ 足立区の文化芸術の推進施策を評価できる」

- (1) 「そう思う (計)」 53.4%
- (2) 「そう思わない (計)」 23.6%

7 地域の伝統芸能への関心の有無・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P39

- (1) 「ある」 68.2%
- (2) 「ない」 31.8%

8 地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無・・・・・・・・・・・・・・・・ P41

- (1) 「ない」 59.5%
- (2) 「ある」 40.5%

9 地域の伝統芸能の体験意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P44

- (1) 「いいえ」 56.4%
- (2) 「はい」 43.1%

10 伝統芸能を体験する場合に望む機会・・・・・・・・・・・・・・・・ P46

- (1) 「地域のお囃子や獅子舞などへの参加」 59.5%
- (2) 「家の近くの公共施設（地域学習センターなど）で伝統芸能の体験講座」 59.5%

11 伝統芸能について区から情報発信してほしい内容・・・・・・・・ P47

- (1) 「あだち広報やホームページで特集記事が見られる」 79.0%
- (2) 「ホームページなどで地域のイベントやお祭りの実施時期や場所がわかる」 55.4%

12 伝統芸能「文楽」の認知度・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P49

- (1) 「はい」 53.3%
- (2) 「いいえ」 46.7%

13 シアター1010で「文楽」公演が行われたことの認知度・・・・・・・・ P51

- (1) 「いいえ」 77.9%
- (2) 「はい」 22.1%

14 「文楽」公演の鑑賞・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P53

- (1) 「はい」 64.1%
- (2) 「いいえ」 35.9%

15 「文楽」公演を鑑賞したいと思わない理由・・・・・・・・ P54

- (1) 「関心がないから」 58.6%
- (2) 「『文楽』のことがよくわからないから」 50.0%

- 16 有形文化財である古民家への興味の有無** P55
- (1) 「ある」 82.1%
- (2) 「ない」 17.9%
- 17 区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思うか** P56
- (1) 「はい」 84.1%
- (2) 「いいえ」 15.9%
- 18 区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思わない理由** P57
- (1) 「関心がないから」 71.0%
- (2) 「文化財のことがよくわからないから」 35.5%
- 19 有形文化財の情報発信や機会の提供** P58
- (1) 「いいえ」 63.1%
- (2) 「はい」 36.9%
- 20 古民家についての情報発信を充実させるために必要な区の取り組み** P60
- (1) 「あだち広報や区ホームページに特集記事を掲載する」 74.9%
- (2) 「古民家の保存や利活用の情報を発信する」 65.6%
- 21 古民家に足を運んでもらうために必要な区の取り組み** P62
- (1) 「古民家のカフェやレストランとしての利用」 75.4%
- (2) 「古民家の公開」 64.1%
- 22 足立区立郷土博物館の認知度** P63
- (1) 「はい」 51.3%
- (2) 「いいえ」 48.7%
- 23 「琳派の花園あだち」や区ホームページの「電子展覧会」の認知度** P65
- (1) 「いいえ」 78.5%
- (2) 「はい」 21.5%
- 24 郷土博物館に行きたいと思うか** P67
- (1) 「はい」 63.1%
- (2) 「いいえ」 36.4%
- 25 郷土博物館に行く目的** P69
- (1) 「歴史や文化について興味があるから」 66.7%
- (2) 「展示のテーマに興味があるから」 44.7%

26 郷土博物館へ行きたいと思わない理由・・・・・・・・・・・・・・・・ P70

(1)「交通の便が悪いから」 50.7%

(2)「関心がないから」 35.2%

27 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え・・・・・・・・ P71

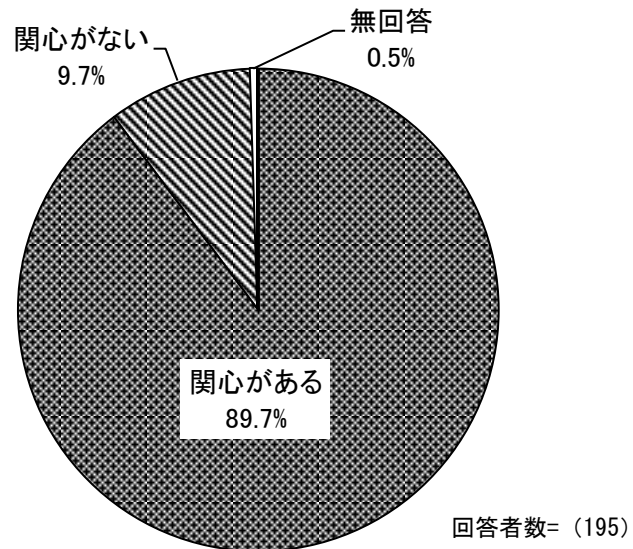
(1)「そう思う (計)」 84.6%

(2)「そう思わない (計)」 9.8%

1 文化芸術への関心の有無

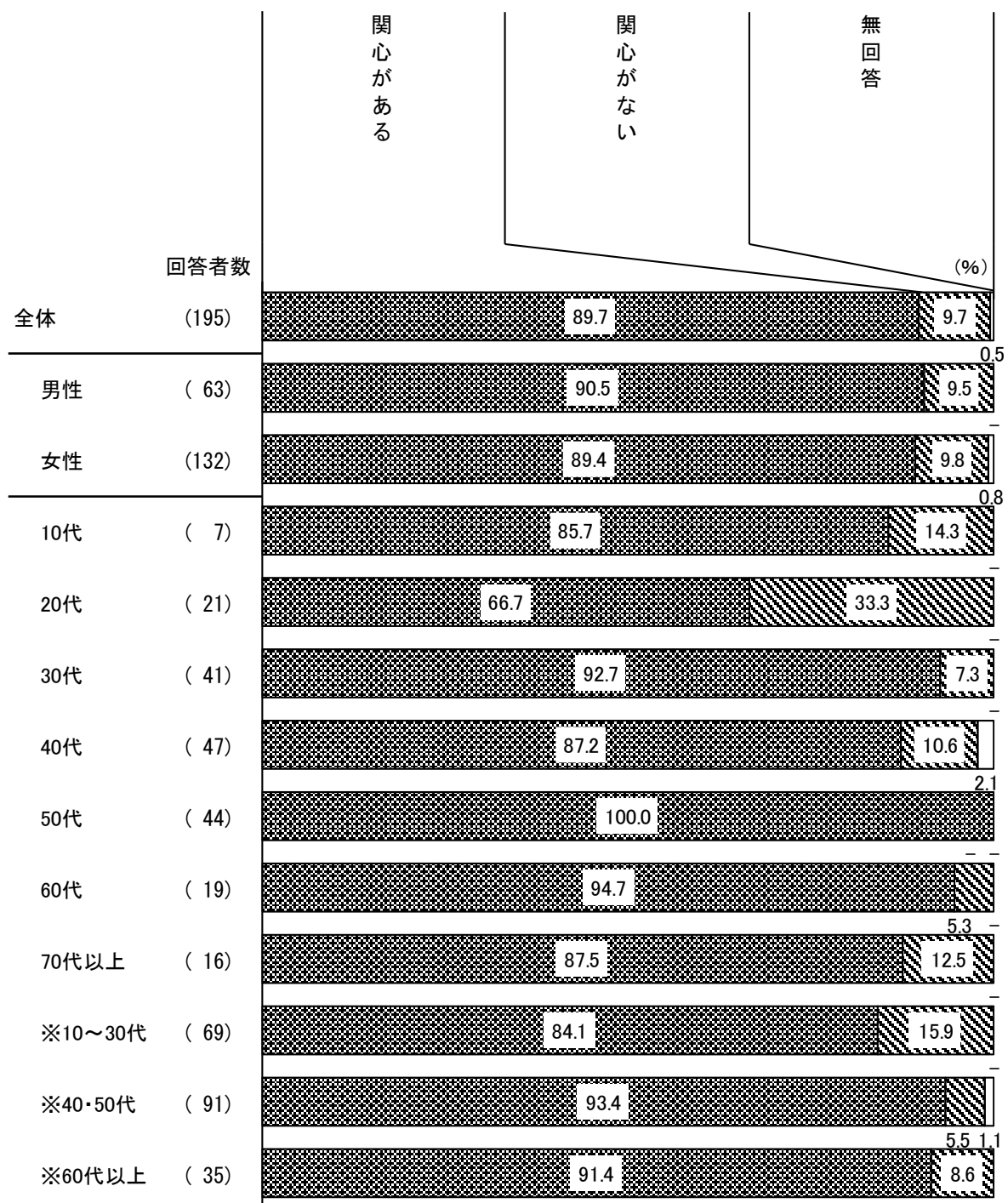
(1) 単純集計

問1 あなたは音楽、美術、伝統芸能、文化財・遺跡などの文化芸術に関心がありますか（○は1つだけ）。



文化芸術の関心度は、「関心がある」が 89.7%で、「関心がない」は 9.7%となっています。

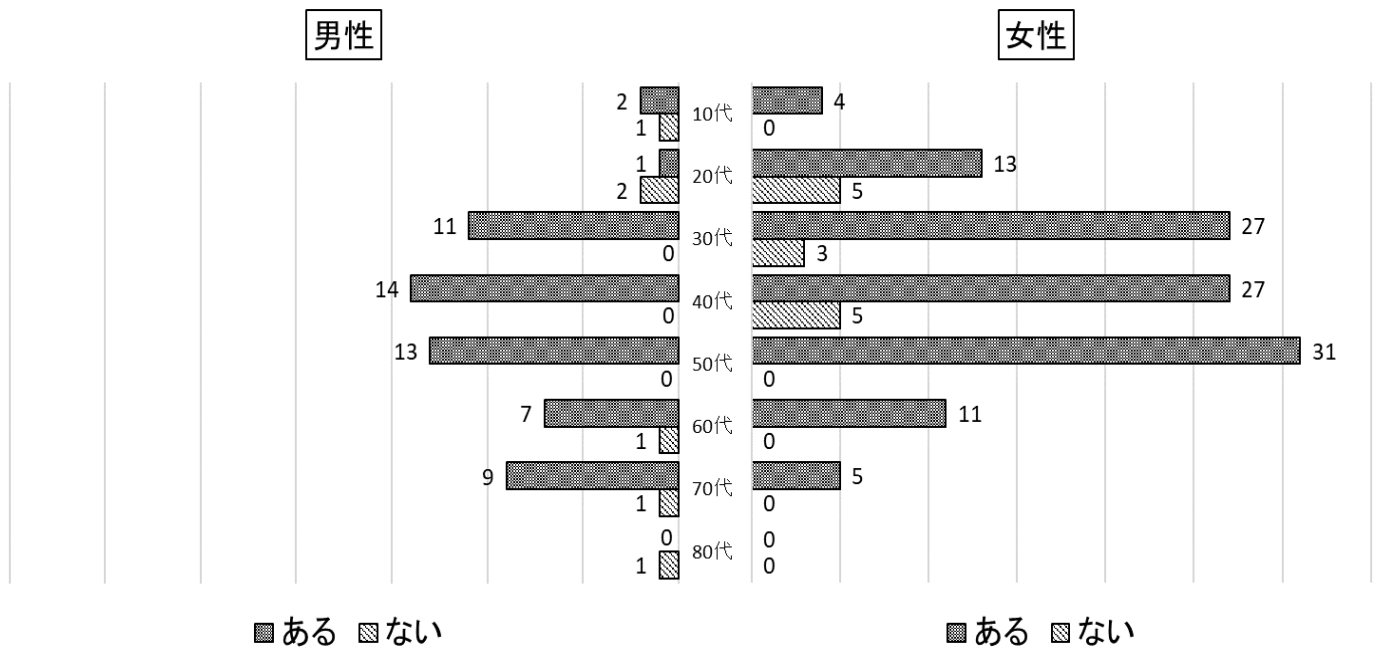
(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／文化芸術への関心の有無



※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

文化芸術への関心の有無を性別にみると、「関心がある」は男性（90.5%）の方が女性（89.4%）より1.1ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「関心がある」は“※40・50代”が93.4%で、“※10～30代”（84.1%）よりも9.3ポイント、“※60代以上”（91.4%）よりも2.0ポイント高くなっています。



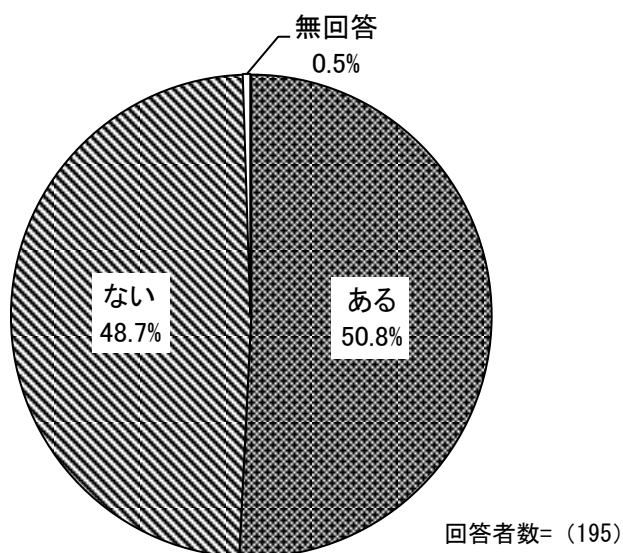
※サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

(件)

2 文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加経験

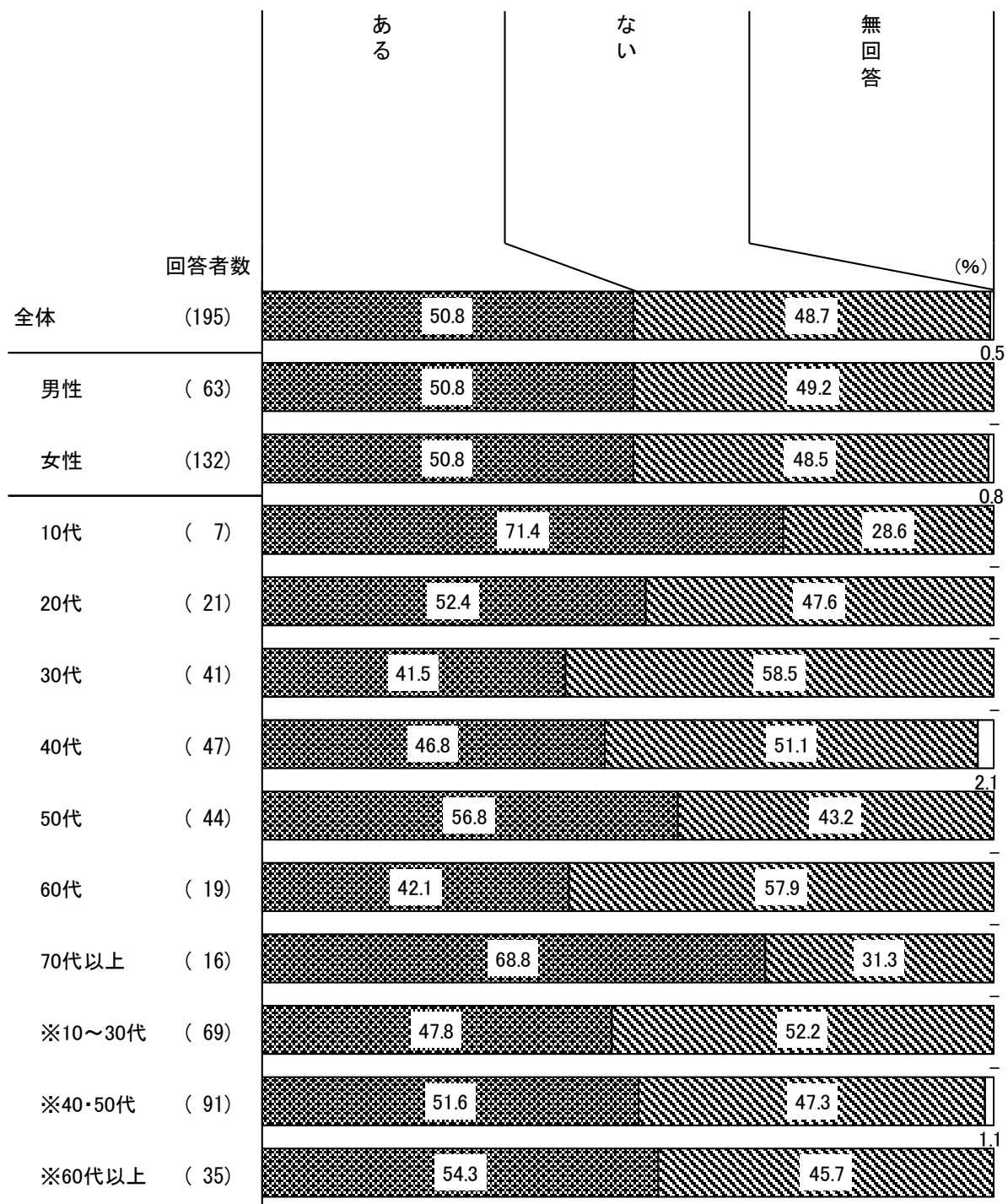
(1) 単純集計

問2 あなたは、これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがありますか（○は1つだけ）。



文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加経験は、「ある」が50.8%で、「ない」は48.7%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加経験



※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

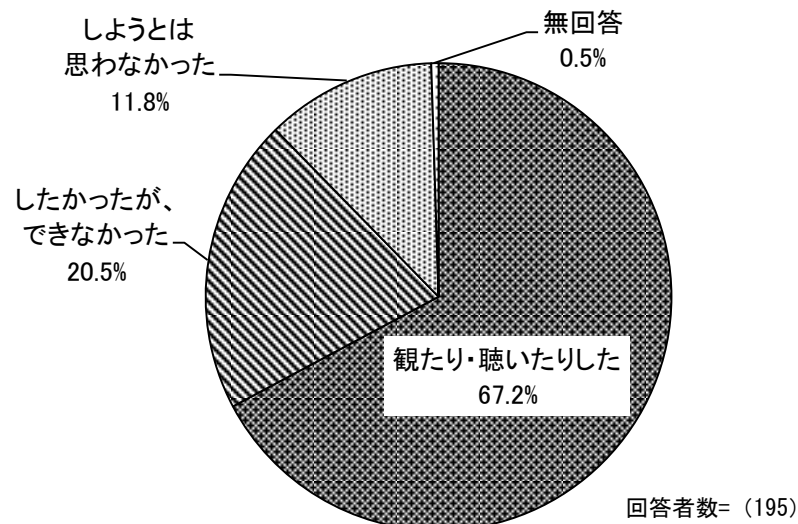
文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座への参加経験を性別にみると、大きな差はみられない。

参加経験が「ある」について、年代別にみると、「※10～30代」が47.8%、「※40・50代」が51.6%、「※60代以上」が54.3%と年代層が高くなるにつれて割合が高くなっています。

3 過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験

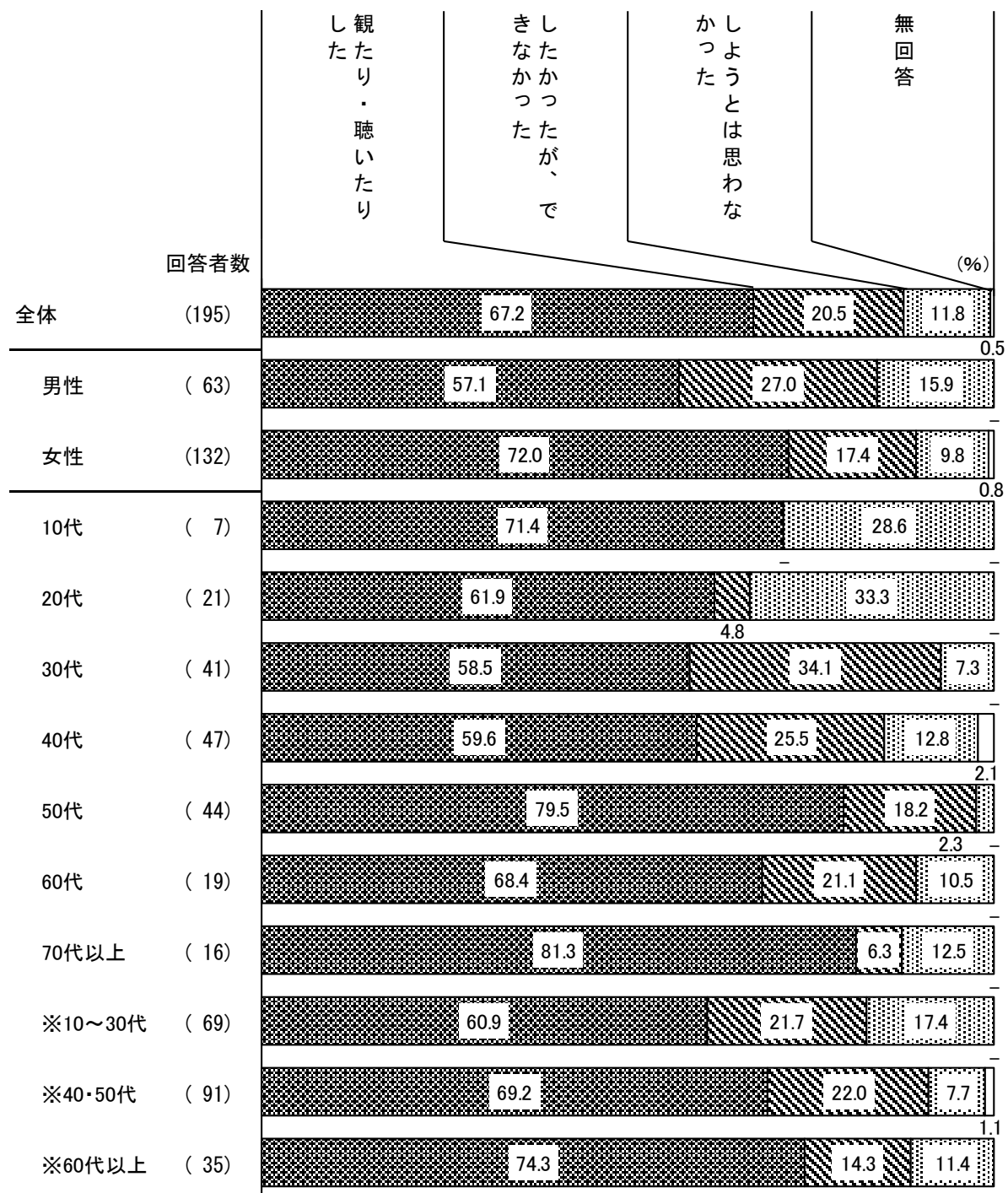
(1) 単純集計

問3 芸術鑑賞について伺います。あなたは過去一年間に、文化ホール・美術館等やイベントに出かけたり、オンライン・WEB・テレビにより、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか（○は1つだけ）。



過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験は、「観たり・聴いたりした」が67.2%で、「したかったが、できなかった」が20.5%、「しようとは思わなかった」が11.8%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／過去一年間に文化芸術の作品を観たり
聴いたりした経験

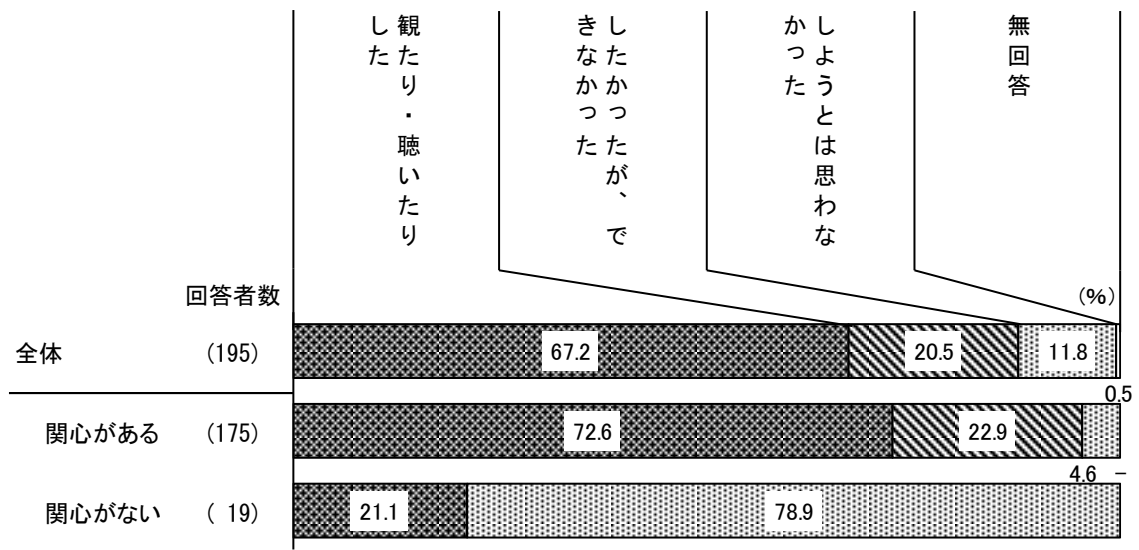


※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験を性別にみると、「観たり・聴いたりした」は女性（72.0%）の方が男性（57.1%）より14.9ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「観たり・聴いたりした」は“※10～30代”が60.9%、“※40・50代”が69.2%、“※60代以上”が74.3%と年代層が高くなるにつれて割合が高くなっています。

(3) クロス集計・文化芸術の関心度別／過去一年間に文化芸術の作品を観たり
聴いたりした経験

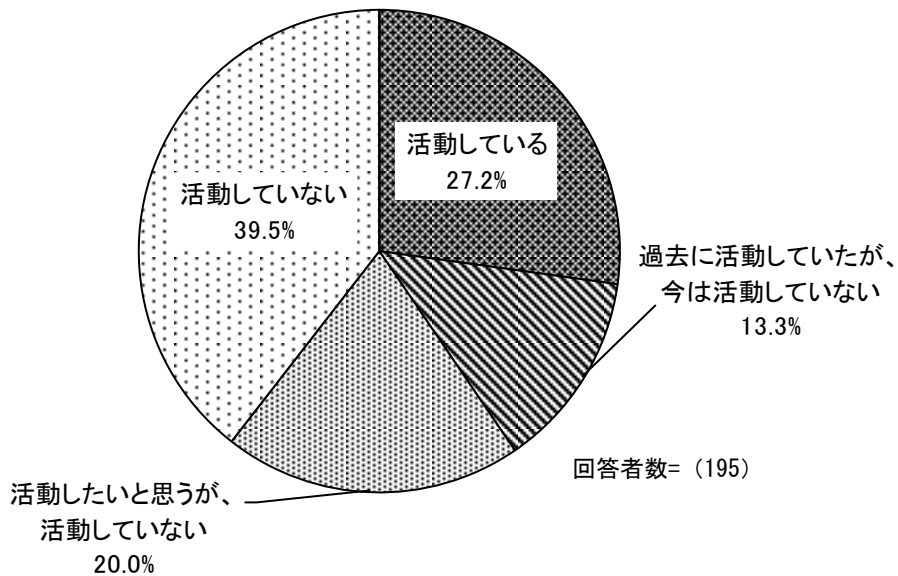


過去一年間に文化芸術の作品を観たり聴いたりした経験を文化芸術の関心度別にみると、「観たり・聴いたりした」は「関心がある」(72.6%) 人の方が、「関心がない」(21.1%) 人より 51.5 ポイント高くなっています。

4 趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動状況

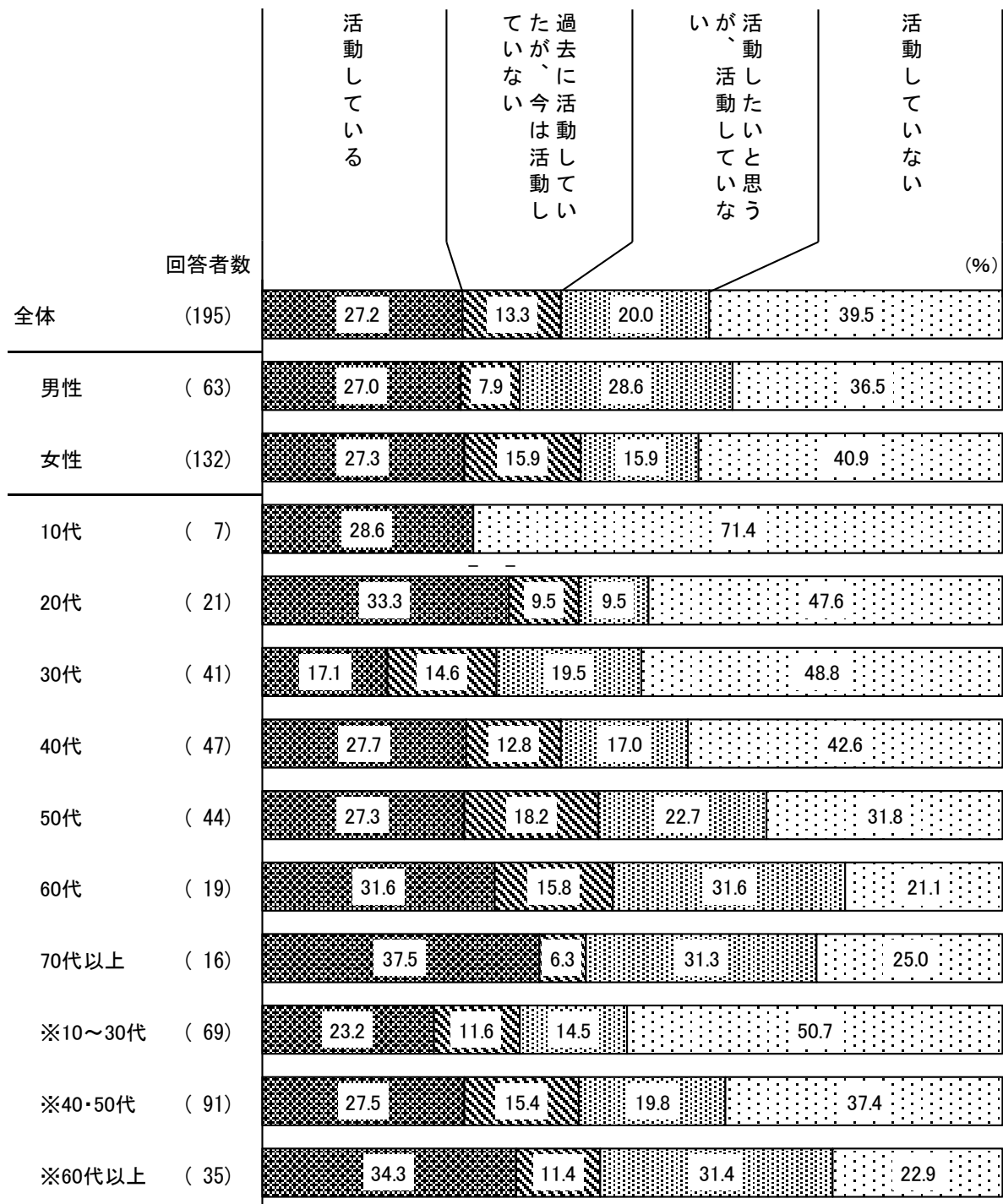
(1) 単純集計

問4 あなたは、普段から、趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動をおこなっていますか（○は1つだけ）。



趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動状況は「活動していない」が39.5%で最も高く、次いで「活動している」が27.2%、「活動したいと思うが、活動していない」が20.0%、「過去に活動していたが、今は活動していない」が13.3%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動状況



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

趣味やサークルなどの芸術活動に関わる活動状況を性別にみると、「活動したいと思うが、活動していない」は男性（28.6％）の方が女性（15.9％）より12.7ポイント高くなっています。

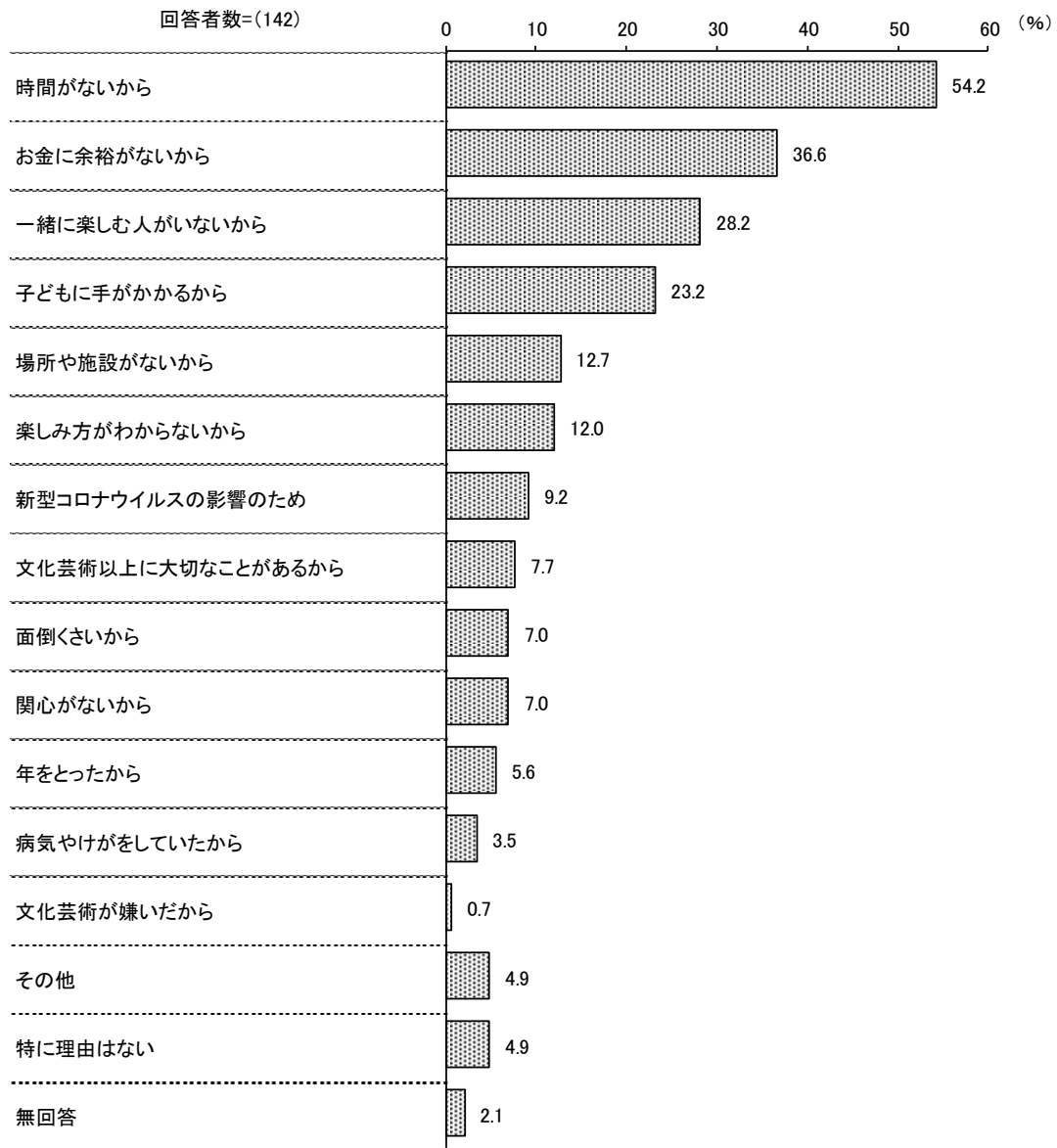
年代層別にみると、「活動している」は“※10～30代”が23.2％、“※40・50代”が27.5％、“※60代以上”が34.3％と年代層が高くなるにつれて割合が高くなっています。

5 趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動をおこなっていない理由

(1) 単純集計

(問4で「2 過去に活動していたが、今は活動していない」「3 活動したいと思うが、活動していない」「4 活動していない」とお答えの方に)

問4-1 文化芸術活動をおこなっていないのはなぜですか(〇はあてはまるものすべて)。



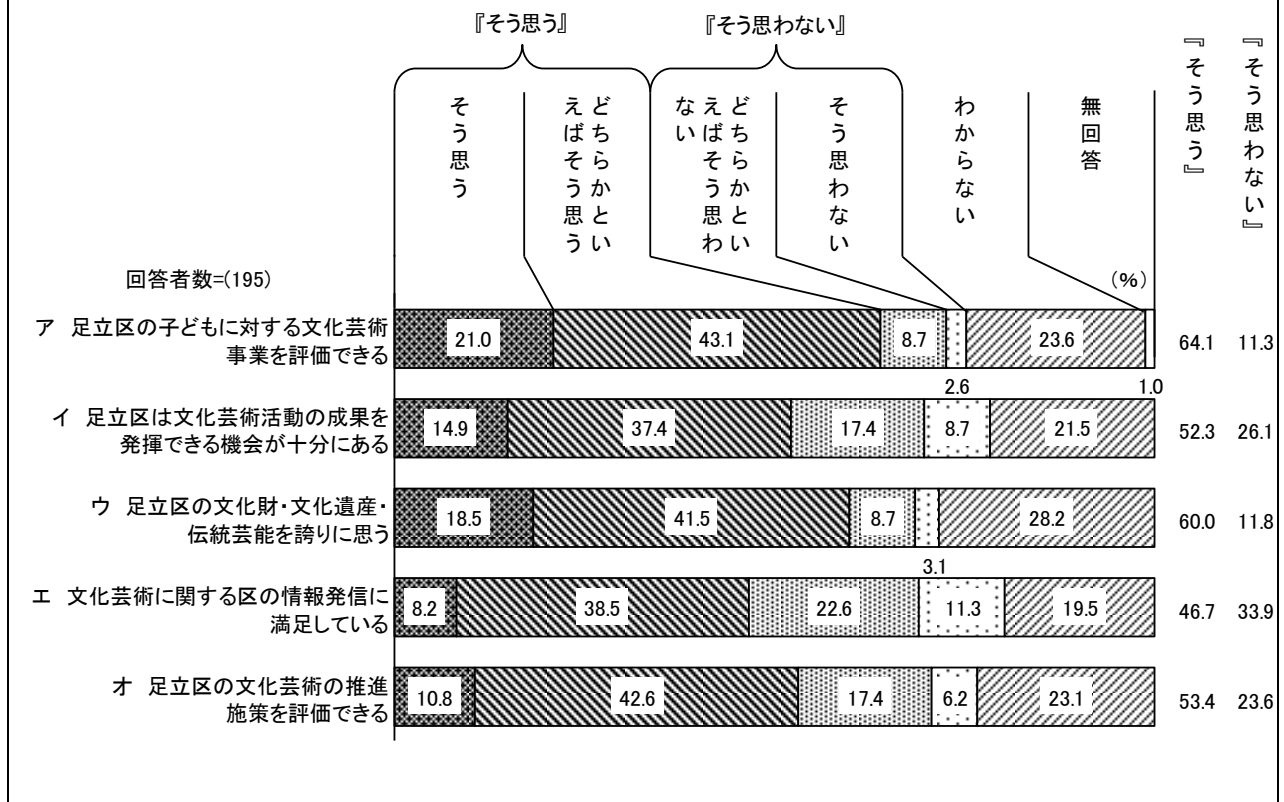
趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる普段の活動状況“過去に活動していたが、今は活動していない”、“活動したいと思うが、活動していない”、“活動していない”とお答えの方に、おこなっていない理由を聞いたところ、「時間がないから」が54.2%で最も高く、次いで「お金に余裕がないから」が36.6%、「一緒に楽しむ人がいないから」が28.2%となっています。

6 文化芸術について感じていること

(1) 単純集計

問5 あなたは、文化芸術について、どのように感じていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)。

※ 本設問は、足立区文化芸術推進計画の施策の進捗状況を把握するためのものです。



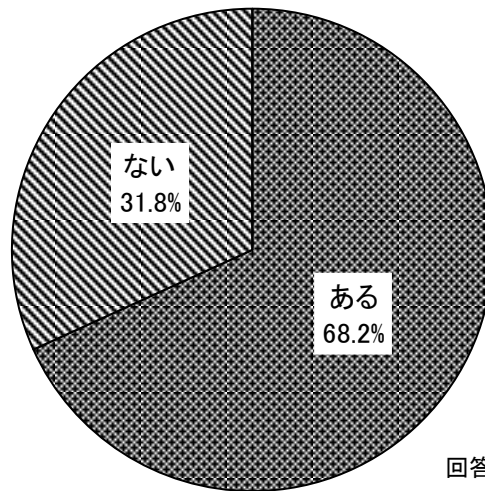
足立区の文化芸術や区の取り組みについて、どのように感じているかを聴いたところ、「『そう思う』と『どちらかといえばそう思う』を合わせた『そう思う』は、“ア 足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できる”が64.1%で最も高く、次いで、“ウ 足立区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う”(60.0%)、“オ 足立区の文化芸術の推進施策を評価できる”(53.4%)となっています。

一方、「『そう思わない』と『どちらかといえばそう思わない』を合わせた『そう思わない』は、“エ 文化芸術に関する区の情報発信に満足している”が33.9%で最も高く、次いで、“イ 足立区は文化芸術活動の成果を発揮できる機会が十分にある”(26.1%)などとなっています。

7 地域の伝統芸能への関心の有無

(1) 単純集計

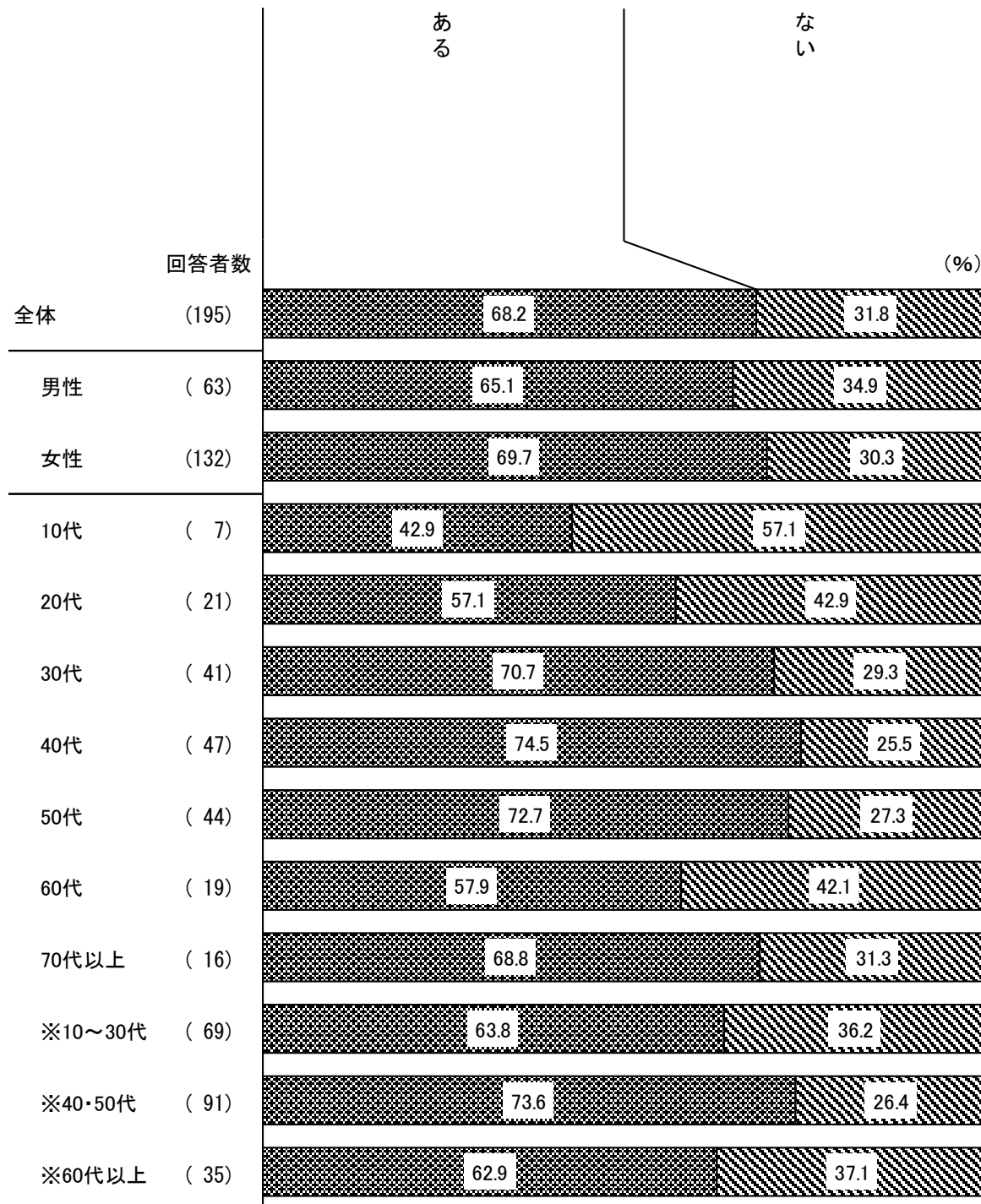
問6 あなたは、地域のお囃子や獅子舞などの伝統芸能などに関心がありますか
(○は1つだけ)。



回答者数= (195)

地域の伝統芸能への関心の有無は、「ある」が68.2%、「ない」が31.8%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／地域の伝統芸能への関心の有無



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

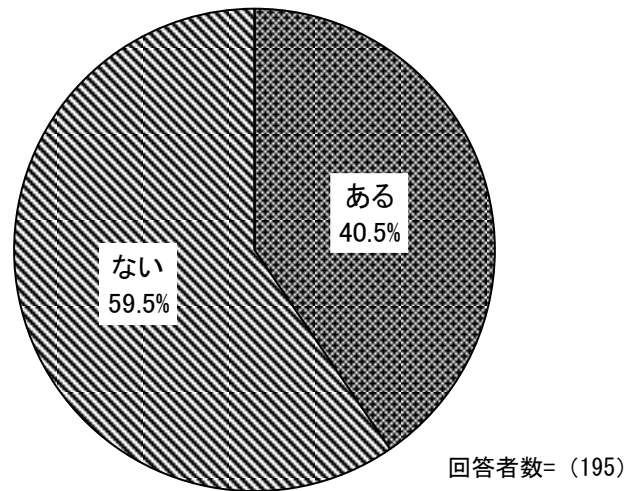
地域の伝統芸能への関心の有無を性別にみると、「ある」は女性（69.7%）の方が男性（65.1%）より4.6ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「ある」は“※40・50代”が73.6%で、“※10～30代”（63.8%）、“※60代以上”（62.9%）に比べて約10.0ポイント程度高くなっています。

8 地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無

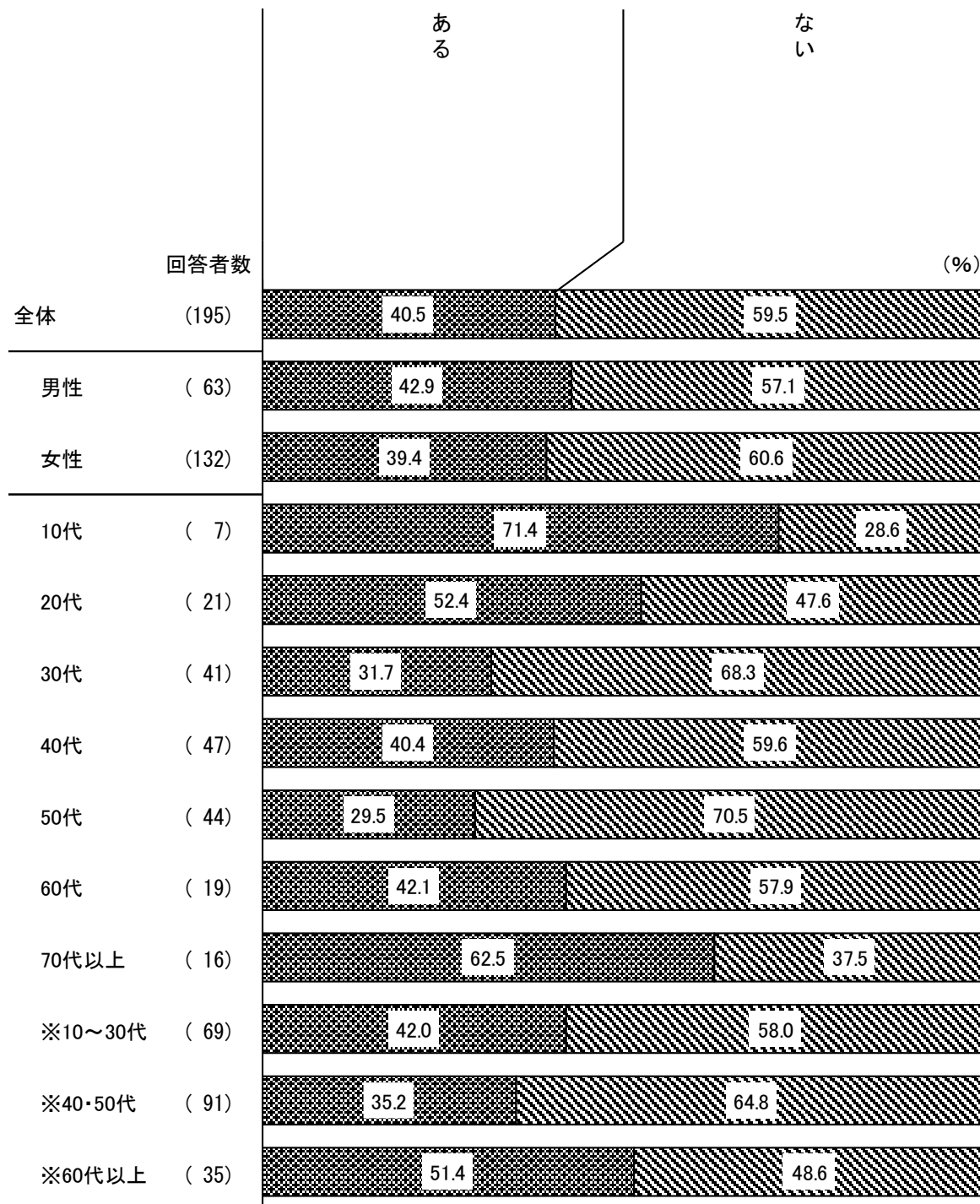
(1) 単純集計

問7 あなたは、地域のお囃子などの伝統芸能を観たり、聴いたり、体験したことがありますか（○は1つだけ）。



地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無は、「ある」が40.5%、「ない」が59.5%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無

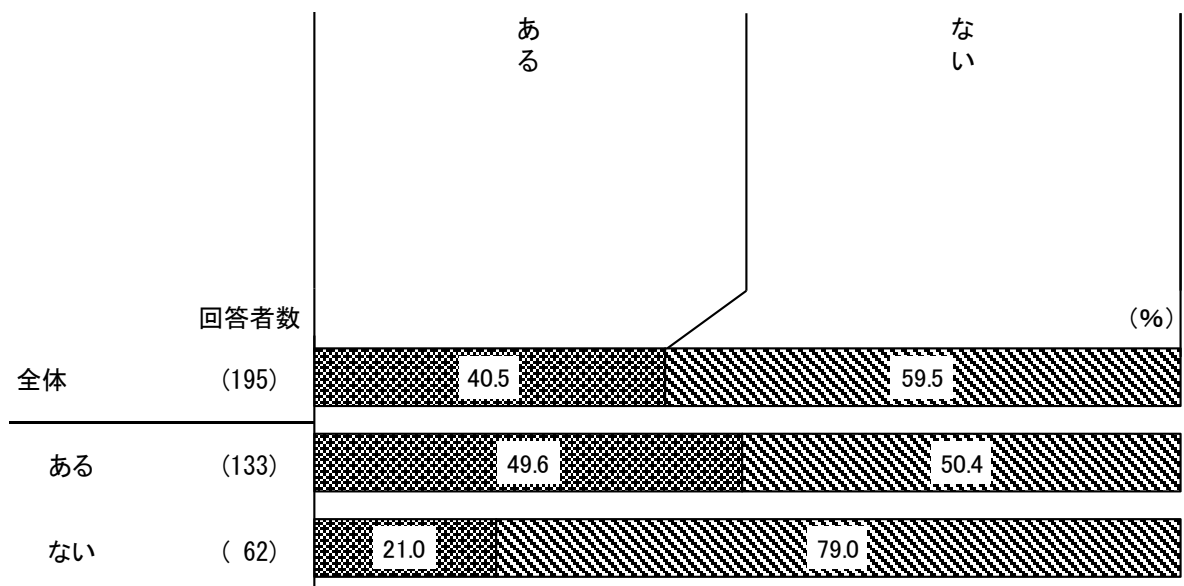


※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無を性別にみると、「ある」は男性（42.9％）の方が女性（39.4％）より3.5ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「ある」は“※60代以上”が51.4％で、“※10～30代”（42.0％）、“※40・50代”（35.2％）に比べて約10.0ポイント程度高くなっています。

(3) クロス集計・地域の伝統芸能への関心の有無別／地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無

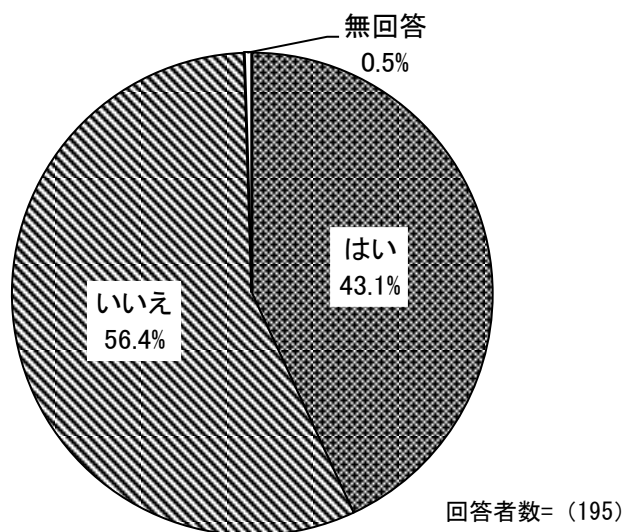


地域の伝統芸能の鑑賞および体験の有無を地域の伝統芸能への関心の有無別にみると、「(経験が) ある」は関心がある (49.6%) 人の方が関心がない (21.0%) より 3.5 ポイント高くなっています。

9 地域の伝統芸能の体験意向

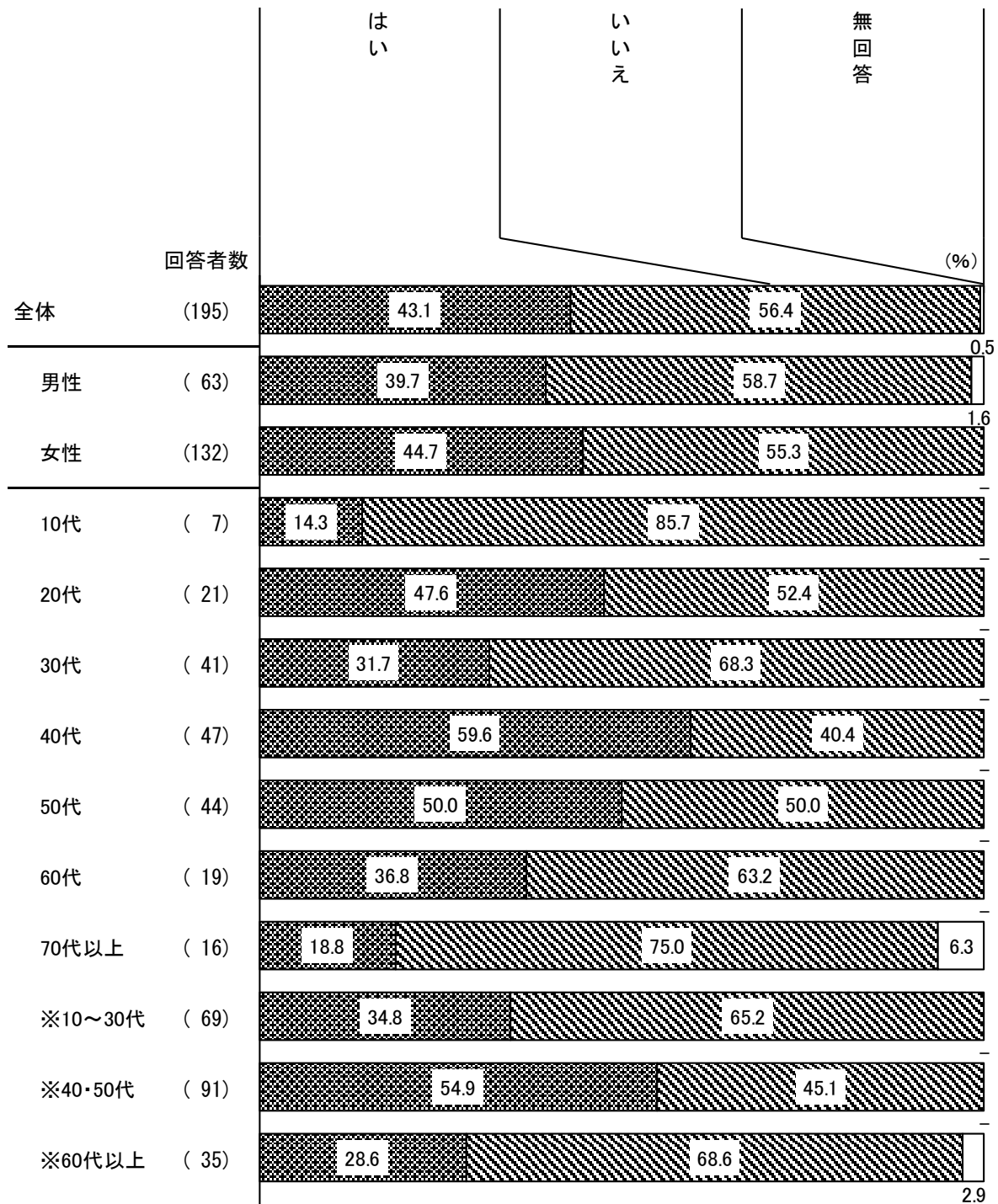
(1) 単純集計

問8 あなたは、機会があれば地域のお囃子や獅子舞などの伝統芸能をやってみたいと思いますか（○は1つだけ）。



地域の伝統芸能の体験意向は、「はい（やってみたい）」が43.1%、「いいえ（やりたくない）」が56.4%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／地域の伝統芸能の体験意向



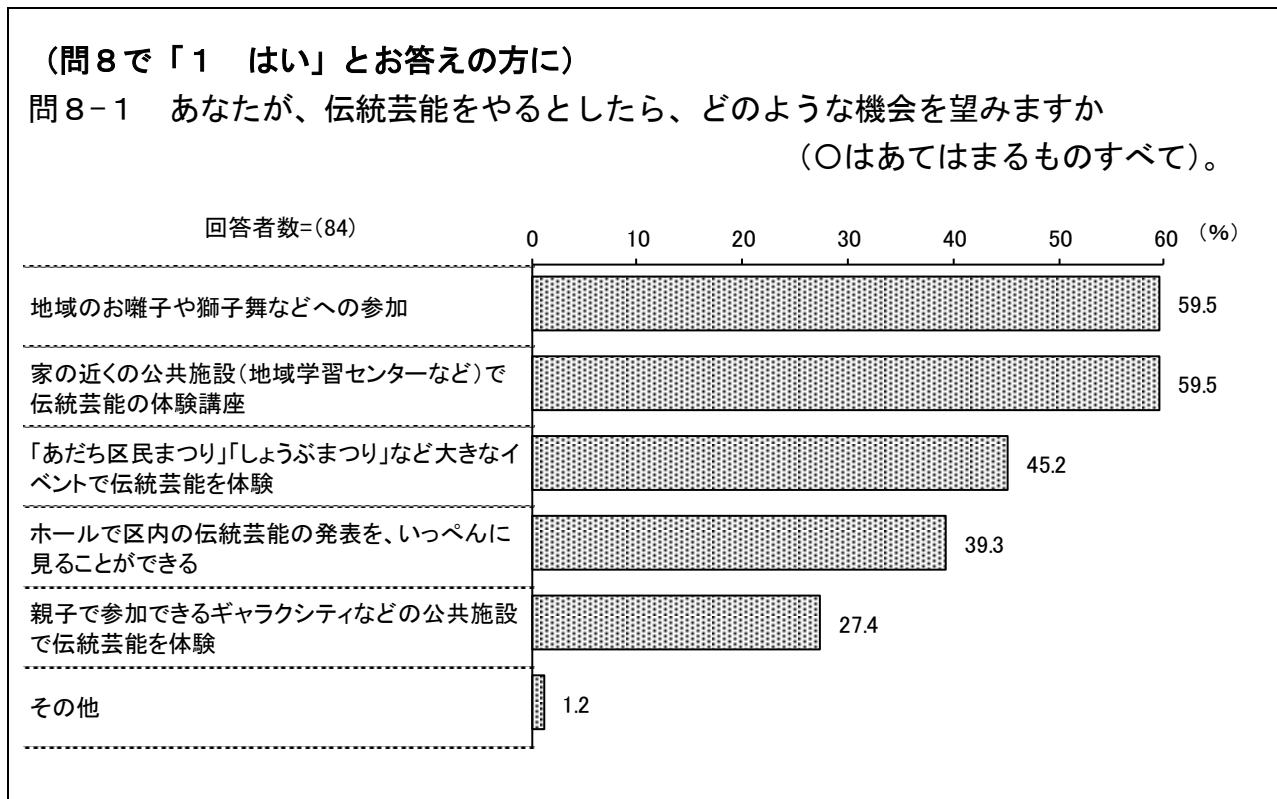
※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

地域の伝統芸能の体験意向を性別にみると、「はい（やってみたい）」は女性（44.7%）の方が男性（39.7%）より5.0ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「はい（やってみたい）」は“※40・50代”が54.9%で、“※10～30代”（34.8%）、“※60代以上”（28.6%）に比べて20.0ポイント以上高くなっています。

10 伝統芸能を体験する場合に望む機会

(1) 単純集計

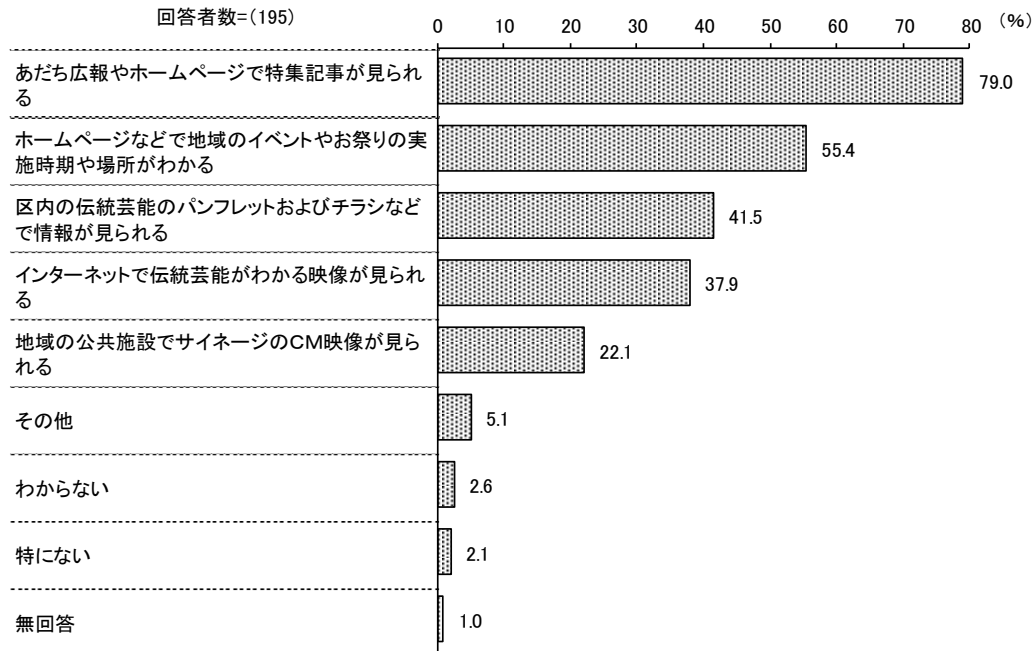


地域の伝統芸能の体験意向で“はい”とお答えの方に、伝統芸能を体験する場合に望む機会を聴いたところ、「地域のお囃子や獅子舞などへの参加」、「家の近くの公共施設（地域学習センターなど）で伝統芸能の体験講座」がともに 59.5% で最も高く、次いで「『あだち区民まつり』『しょうぶまつり』など大きなイベントで伝統芸能を体験」が 45.2%、「ホールで区内の伝統芸能の発表を、いっぺんに見ることができる」が 39.3%、「親子で参加できるギャラクシティなどの公共施設で伝統芸能を体験」が 27.4% となっています。

11 伝統芸能について区から情報発信してほしい内容

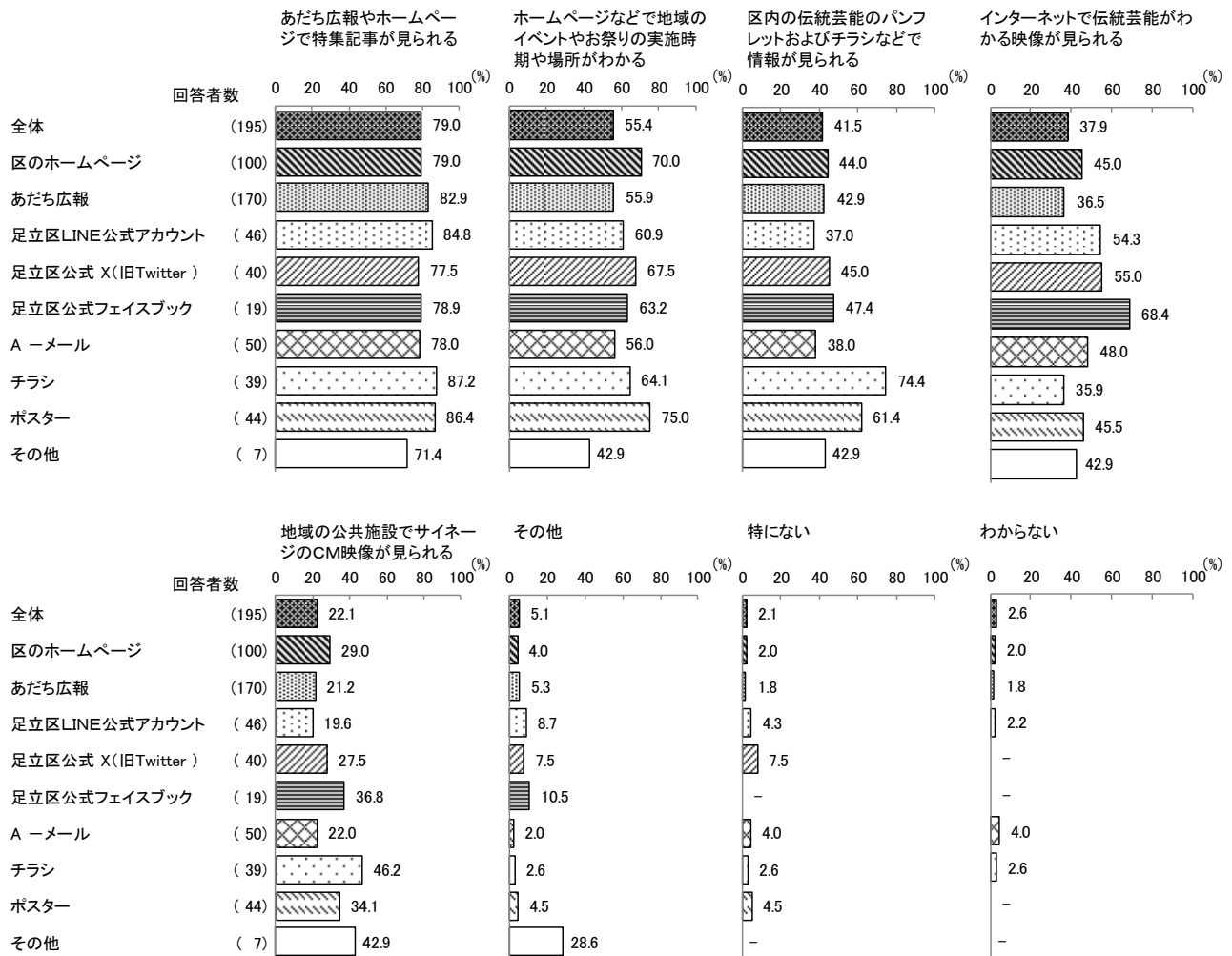
(1) 単純集計

問9 伝統芸能について区からどのような情報発信があるとよいと思いますか
(○はあてはまるものすべて)。



伝統芸能について区から情報発信してほしい内容は、「あだち広報やホームページで特集記事が見られる」(79.0%)が最も高く、次いで「ホームページなどで地域のイベントやお祭りの実施時期や場所がわかる」(55.4%)、「区内の伝統芸能のパンフレットおよびチラシなどで情報が見られる」(41.5%)となっています。

(2) クロス集計・足立区に関する情報の入手手段別／伝統芸能について区から情報発信してほしい内容

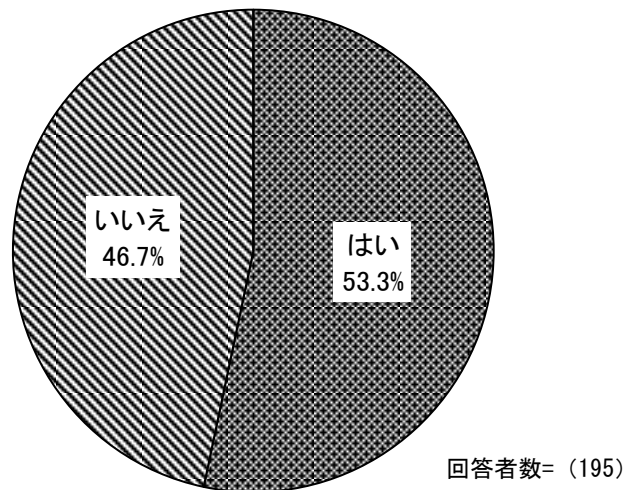


伝統芸能について区から情報発信してほしい内容を足立区に関する情報の入手手段別にみると、「インターネットで伝統芸能がわかる映像が見られる」は足立区公式フェイスブックから情報を入手している人が68.4%で高くなっています。

12 伝統芸能「文楽」の認知度

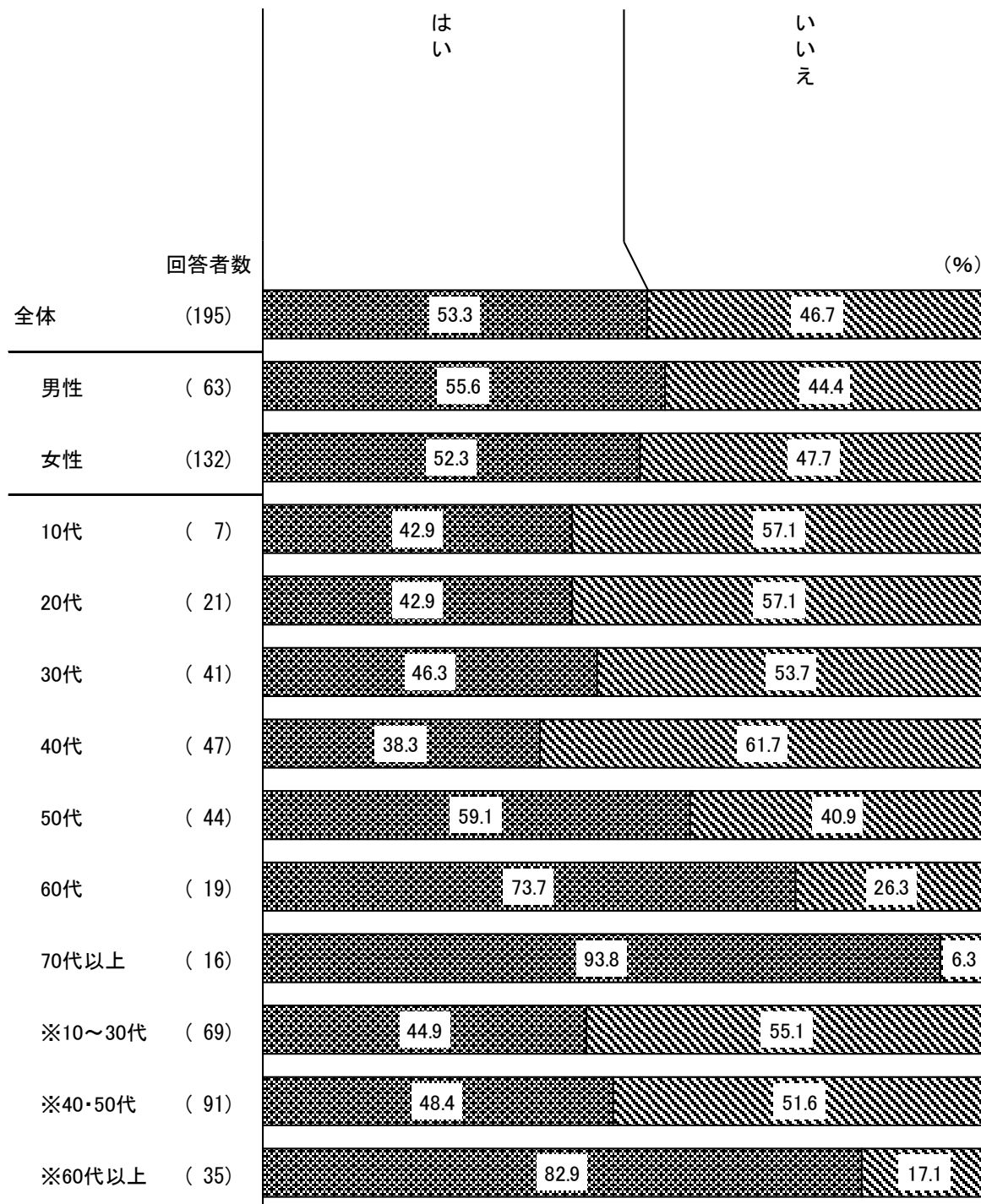
(1) 単純集計

問 10 あなたは伝統芸能「文楽(ぶんらく)」を知っていますか (○は1つだけ)。



伝統芸能「文楽」を知っているか聞いたところ、「はい」が53.3%、「いいえ」が46.7%となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／伝統芸能「文楽」の認知度



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

伝統芸能「文楽」を知っているかについて性別にみると、大きな差はみられない。

年代層別にみると、「はい」は“※10～30代”が44.9%、“※40・50代”が48.4%、“※60代以上”が82.9%と年代層が高くなるにつれて割合が高くなっています。

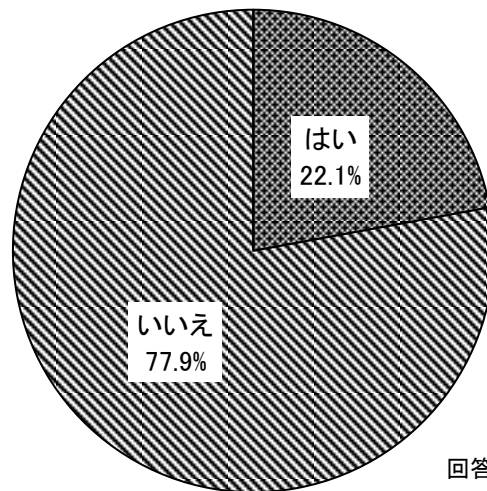
13 シアター1010で「文楽」公演が行われたことの認知度

(1) 単純集計

問11 令和4年に足立区と国立劇場は連携協定を結びました。

あなたは、シアター1010で「文楽」公演が行われたことを知っていますか

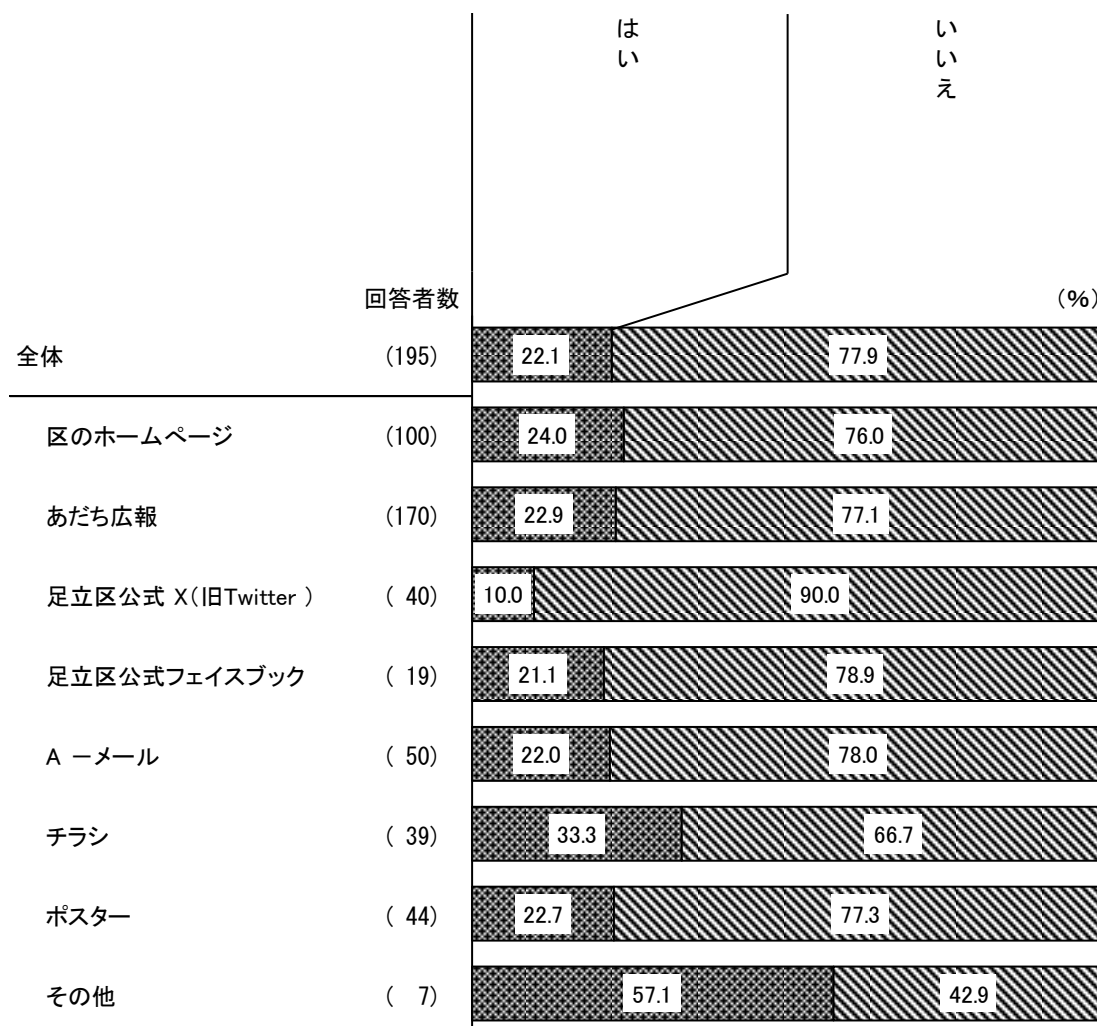
(○は1つだけ)。



回答者数= (195)

シアター1010で「文楽」公演が行われたことを知っているか聞いたところ、「はい」が22.1%、「いいえ」が77.9%となっています。

(2) クロス集計・足立区に関する情報の入手手段別／シアター1010で「文楽」公演が行われたことの認知度



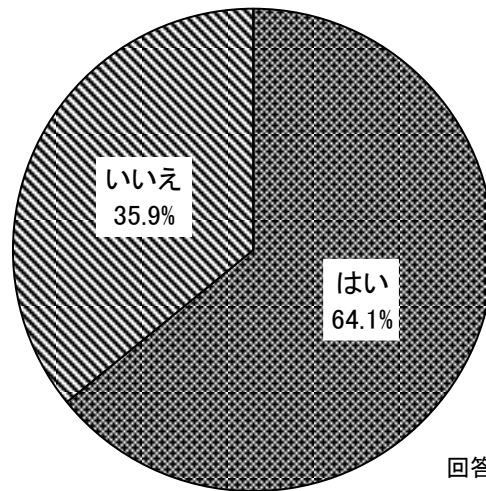
※「足立区公式フェイスブック」および「その他」はサンプル数が30未満であるため、参考値として掲載。

シアター1010で「文楽」公演が行われたことを知っているか足立区に関する情報の入手手段別別にみると、「はい（『文楽』公演が行われていることを知っている）」はチラシから区に関する情報を入手している人が33.3%と他に比べて高くなっています。

14 「文楽」公演の鑑賞

(1) 単純集計

問12 あなたは、機会があれば「文楽」公演を鑑賞したいと思いますか
(○は1つだけ)。



回答者数= (195)

「文楽」公演を鑑賞したいと思うか聞いたところ、「はい」が64.1%、「いいえ」が35.9%となっています。

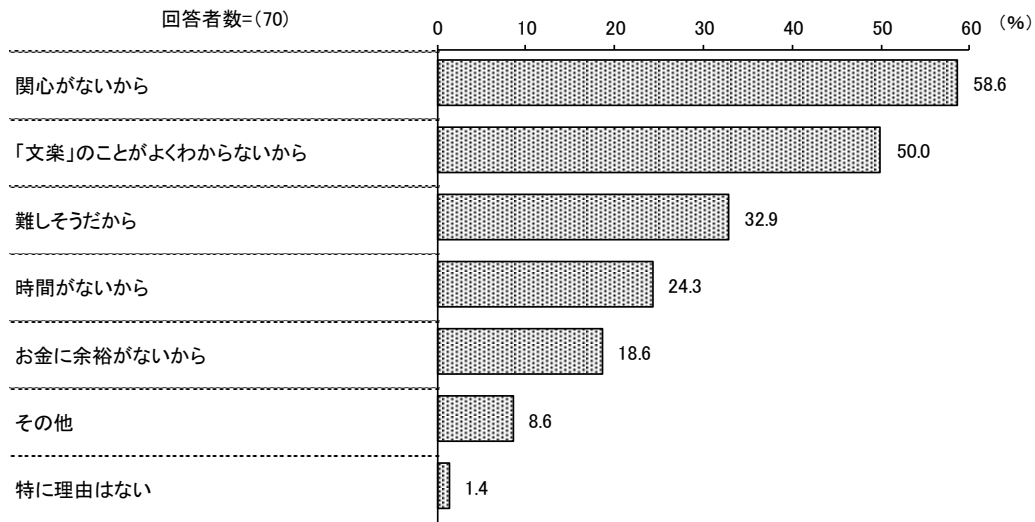
15 「文楽」公演を鑑賞したいと思わない理由

(1) 単純集計

(問12で「2 いいえ」とお答えの方に)

問12-1 「文楽」を鑑賞したいと思わないのはなぜですか

(○はあてはまるものすべて)。

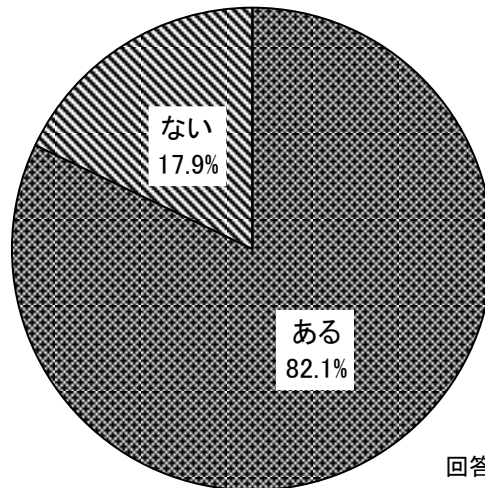


「文楽」公演を鑑賞したいと“思わない”とお答えの方に、そう思う理由を聞いたところ、「関心がないから」(58.6%)が最も高く、次いで「『文楽』のことがよくわからないから」(50.0%)が高い割合となっています。

16 有形文化財である古民家への興味の有無

(1) 単純集計

問13 あなたは、有形文化財である古民家に興味がありますか（○は1つだけ）。



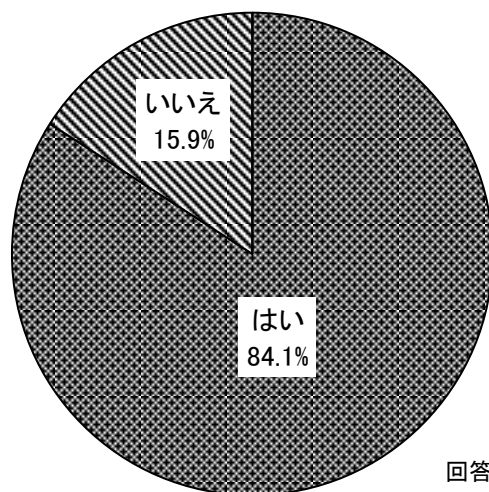
回答者数= (195)

有形文化財である古民家への興味の有無は、「ある」が82.1%、「ない」が17.9%となっています。

17 区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思うか

(1) 単純集計

問 14 足立区には、区の文化財などに指定登録された古民家がありますが、機会があれば観たいと思いますか（〇は1つだけ）。



回答者数= (195)

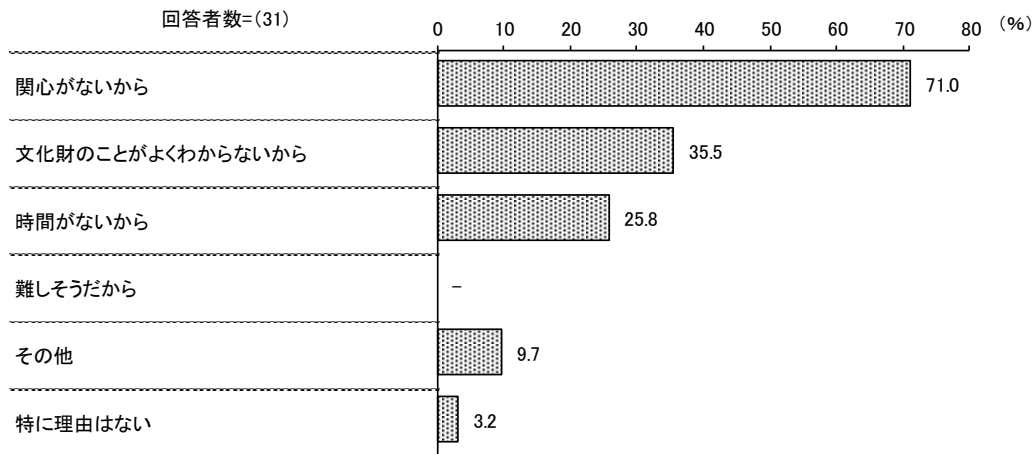
区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思うかについて聞いたところ、「はい」が84.1%、「いいえ」が15.9%となっています。

18 区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと思わない理由

(1) 単純集計

(問14で「2 いいえ」とお答えの方に)

問14-1 区の文化財に指定登録された古民家などを、観たいと思わないのはなぜですか（〇はあてはまるものすべて）。

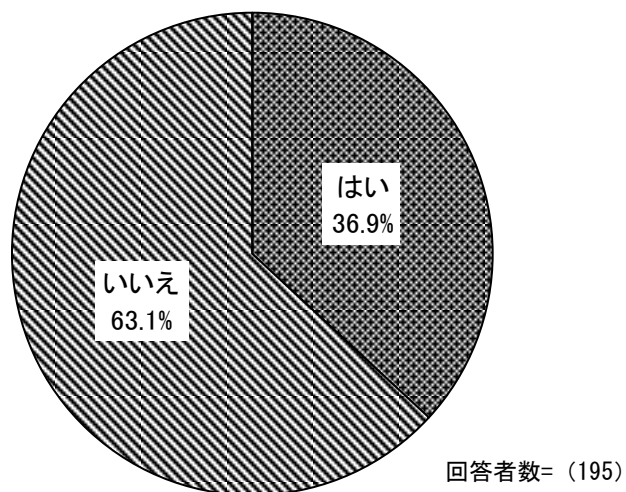


区の文化財などに指定登録された古民家を観たいと“思わない”とお答えの方に、そう思う理由を聴いたところ、「関心がないから」(71.0%)が最も高く、次いで「文化財のことがよくわからないから」(35.5%)、「時間がないから」(25.8%)となっています。

19 有形文化財の情報発信や機会の提供

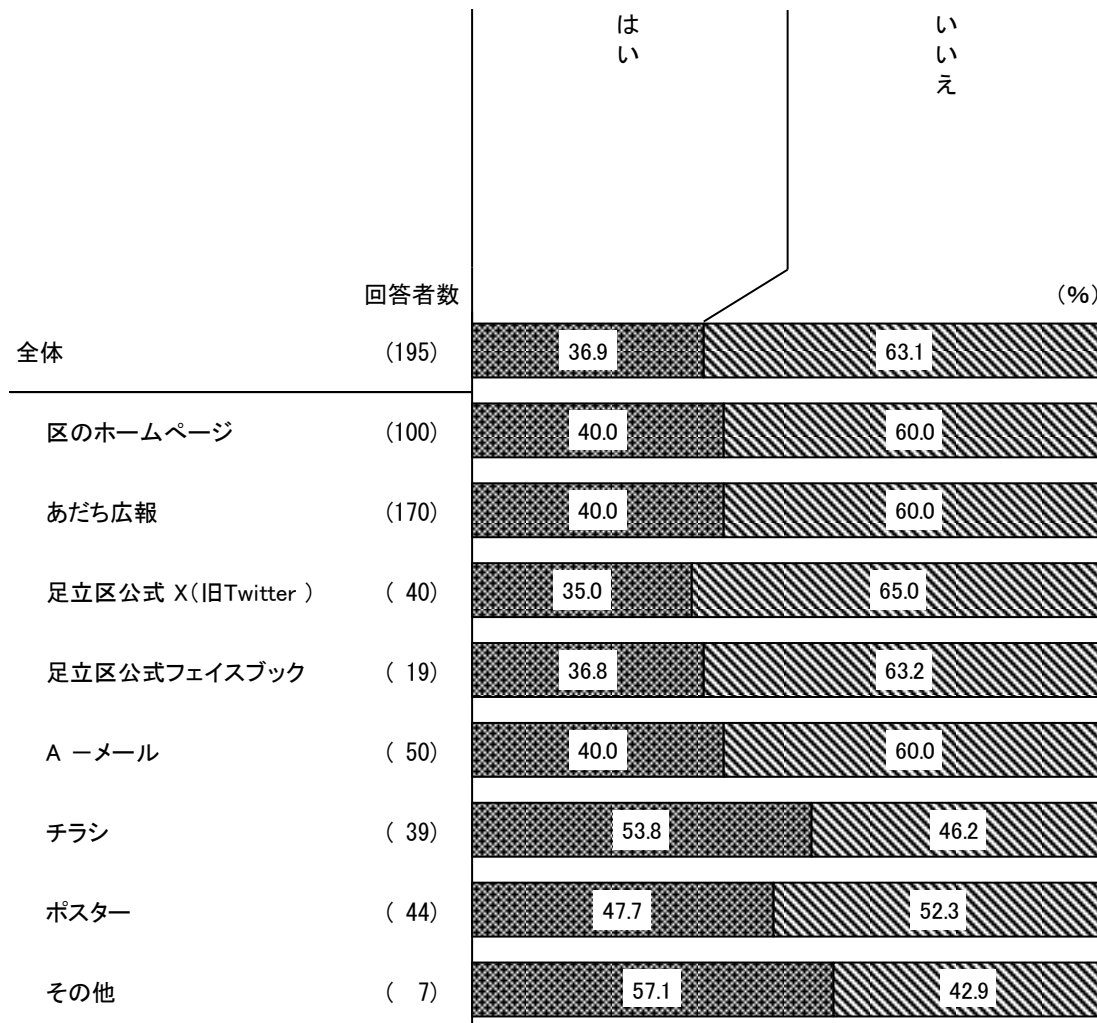
(1) 単純集計

問 15 あなたは、区が発信する古民家などの有形文化財の情報発信や機会の提供が、十分だと思いますか（○は1つだけ）。



有形文化財の情報発信や機会の提供が十分だと思うか聞いたところ、「はい」が36.9%、「いいえ」が63.1%となっています。

(2) クロス集計・足立区に関する情報の入手手段別／有形文化財の情報発信や機会の提供



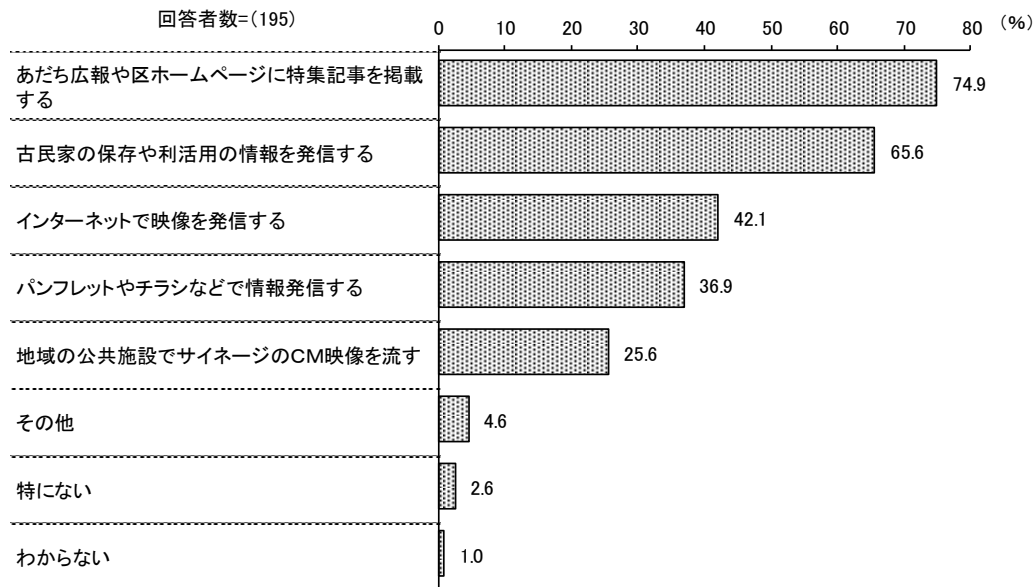
※「足立区公式フェイスブック」および「その他」はサンプル数が30未満であるため、参考値として掲載。

有形文化財の情報発信や機会の提供が十分だと思うかを足立区に関する情報の入手手段別にみると、「はい」は区の情報をチラシから入手している人が53.8%で高くなっています。

20 古民家についての情報発信を充実させるために必要な区の実取り組み

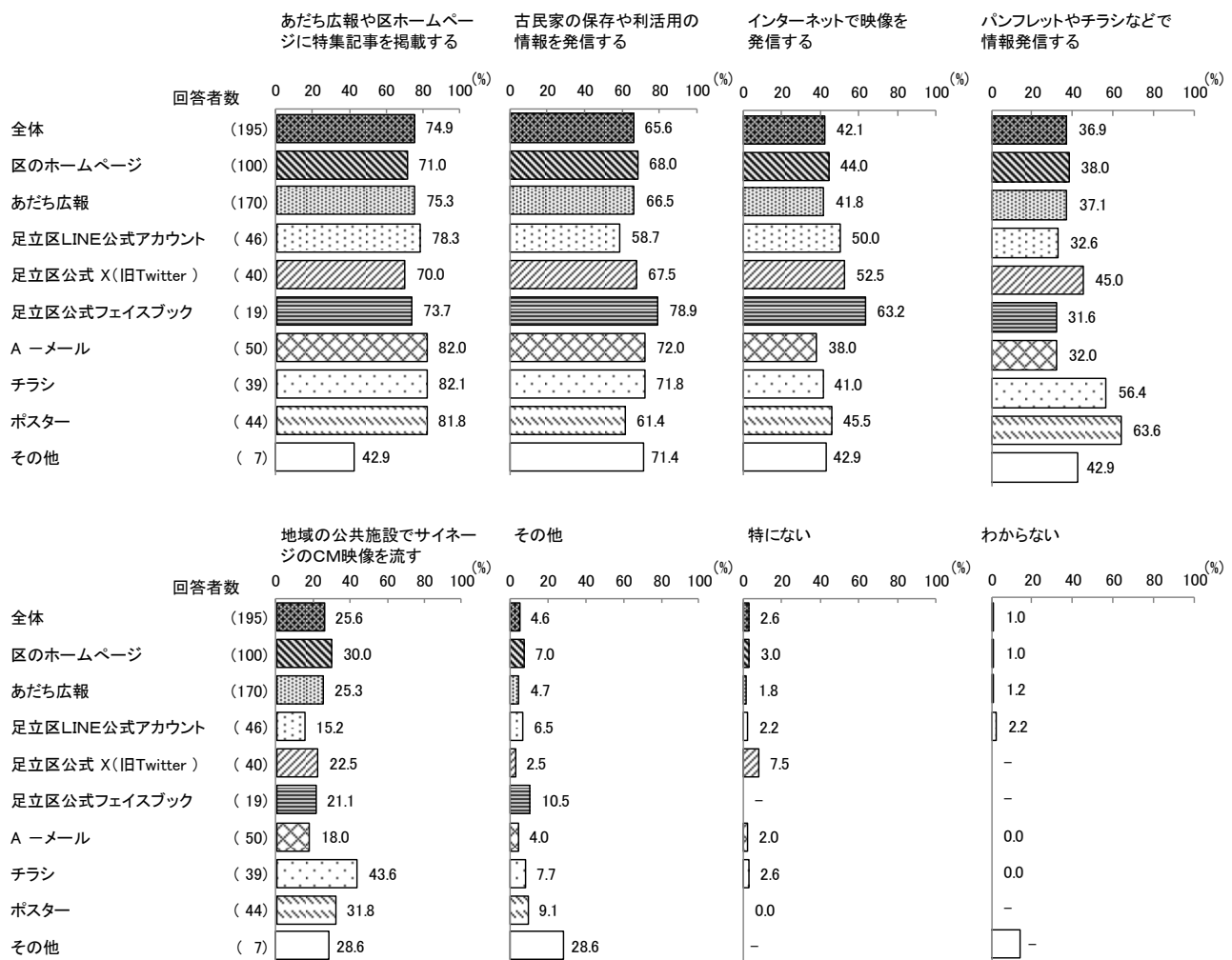
(1) 単純集計

問 16 古民家についての情報発信を充実させるために、区に必要な取り組みはどのようなものだと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。



古民家についての情報発信を充実させるために必要な区の実取り組みは、「あだち広報や区ホームページに特集記事を掲載する」（74.9%）が最も高く、次いで「古民家の保存や利活用の情報を発信する」（65.6%）、「インターネットで映像を発信する」（42.1%）などとなっています。

(2) クロス集計・足立区に関する情報の入手手段別／古民家についての情報発信を充実させるために必要な区の実り組み



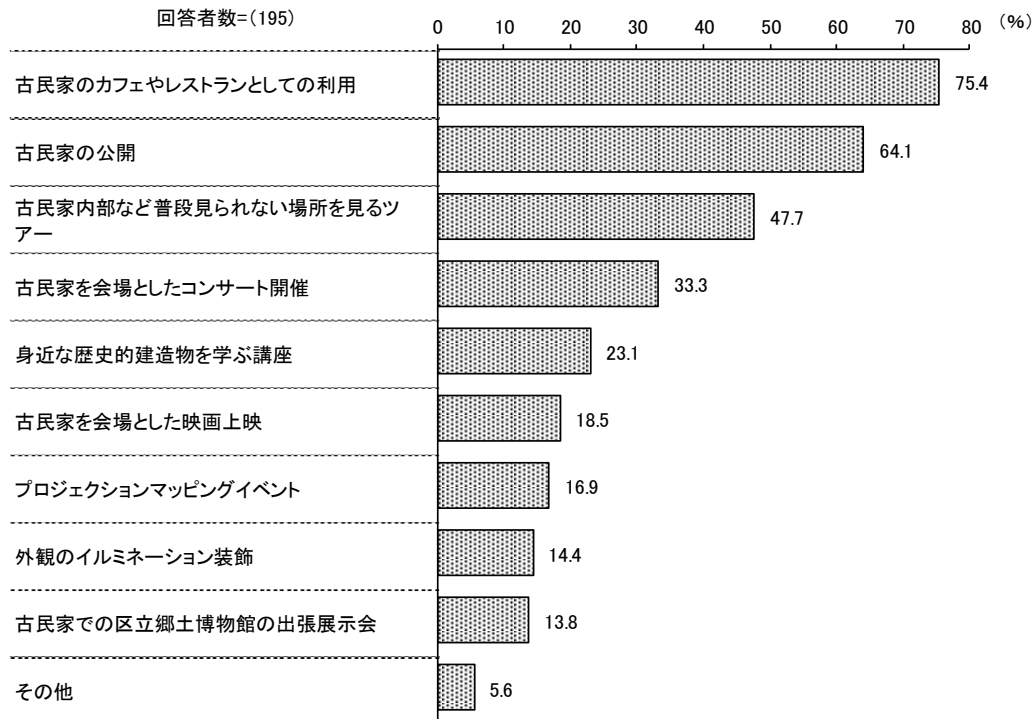
※「足立区公式フェイスブック」および「その他」はサンプル数が30未満であるため、参考値として掲載。

古民家についての情報発信を充実させるために必要な区の実り組みを足立区に関する情報の入手手段別にみると、「あだち広報や区ホームページに特集記事を掲載する」は区の情報「Aメール」、「チラシ」、「ポスター」情報を入手している人が8割台と高くなっています。

21 古民家に足を運んでもらうために必要な区の実取り組み

(1) 単純集計

問 17 古民家に足を運んでもらうために、必要な取り組みはどのようなものだと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。

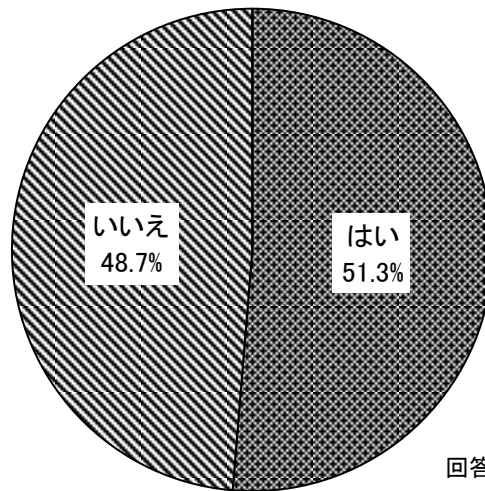


古民家に足を運んでもらうために必要な区の実取り組みは、「古民家のカフェやレストランとしての利用」（75.4%）が最も高く、次いで「古民家の公開」（64.1%）、「古民家内部など普段見られない場所を見るツアー」（47.7%）などとなっています。

22 足立区立郷土博物館の認知度

(1) 単純集計

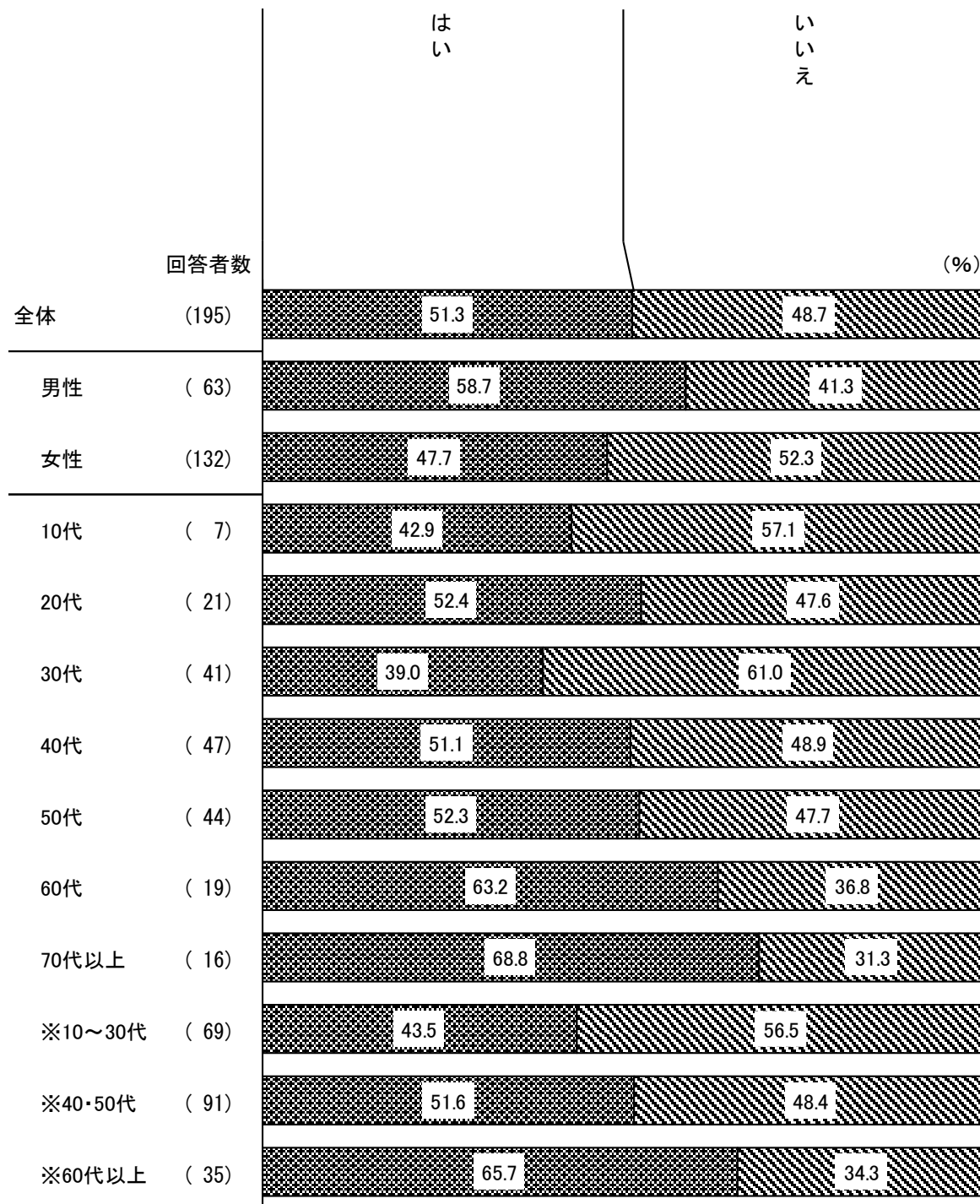
問 18 あなたは、足立区立郷土博物館（大谷田五丁目 20 番 1 号）を知っていますか
（○は1つだけ）。



回答者数= (195)

足立区立郷土博物館を知っているか聞いたところ、「ある」が 51.3%、「ない」が 48.7% となっています。

(2) クロス集計・性別・年代別・年代層別／足立区立郷土博物館の認知度



※10歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

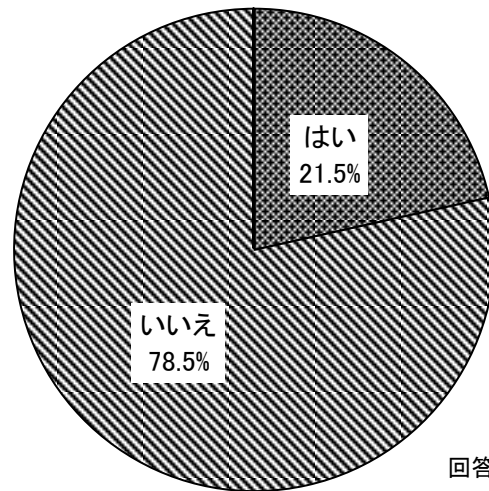
足立区立郷土博物館を知っているかについて性別にみると、「ある」は男性（58.7%）の方が女性（47.7%）より11.0ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「ある」は“※10～30代”が43.5%、“※40・50代”が51.6%、“※60代以上”が65.7%と年代層が高くなるにつれて割合が高くなっています。

23 「琳派の花園あだち」や区ホームページの「電子展覧会」の認知度

(1) 単純集計

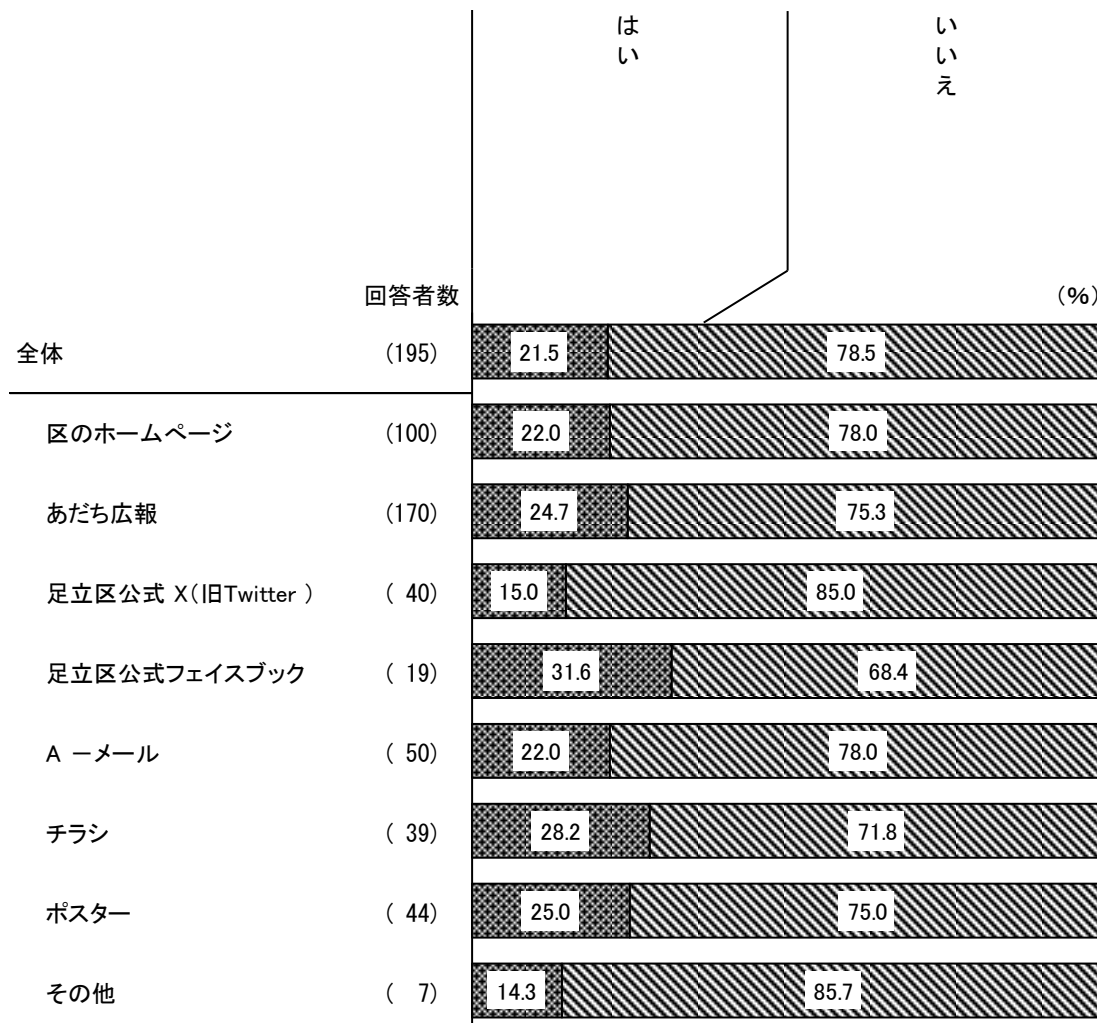
問 19 あなたは、令和4年度に郷土博物館が開催した「琳派の花園 あだち」や区ホームページの「電子展覧会」を知っていますか（○は1つだけ）。



回答者数= (195)

「琳派の花園あだち」や区ホームページの「電子展覧会」を知っているか聞いたところ、「はい」が21.5%、「いいえ」が78.5%となっています。

(2) クロス集計・足立区に関する情報の入手手段別／「琳派の花園あだち」や区ホームページの「電子展覧会」の認知度

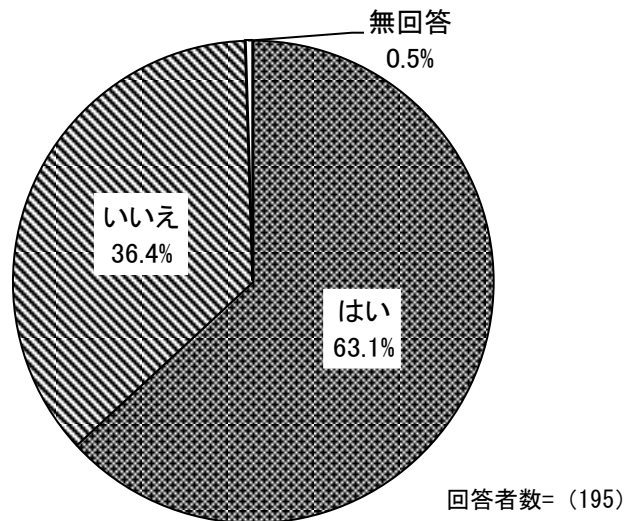


「琳派の花園あだち」や区ホームページの「電子展覧会」を知っているかを足立区に関する情報の入手手段別にみると、「はい」は足立区公式フェイスブックから情報を入手している人が31.6%で高くなっています。

24 郷土博物館に行きたいと思うか

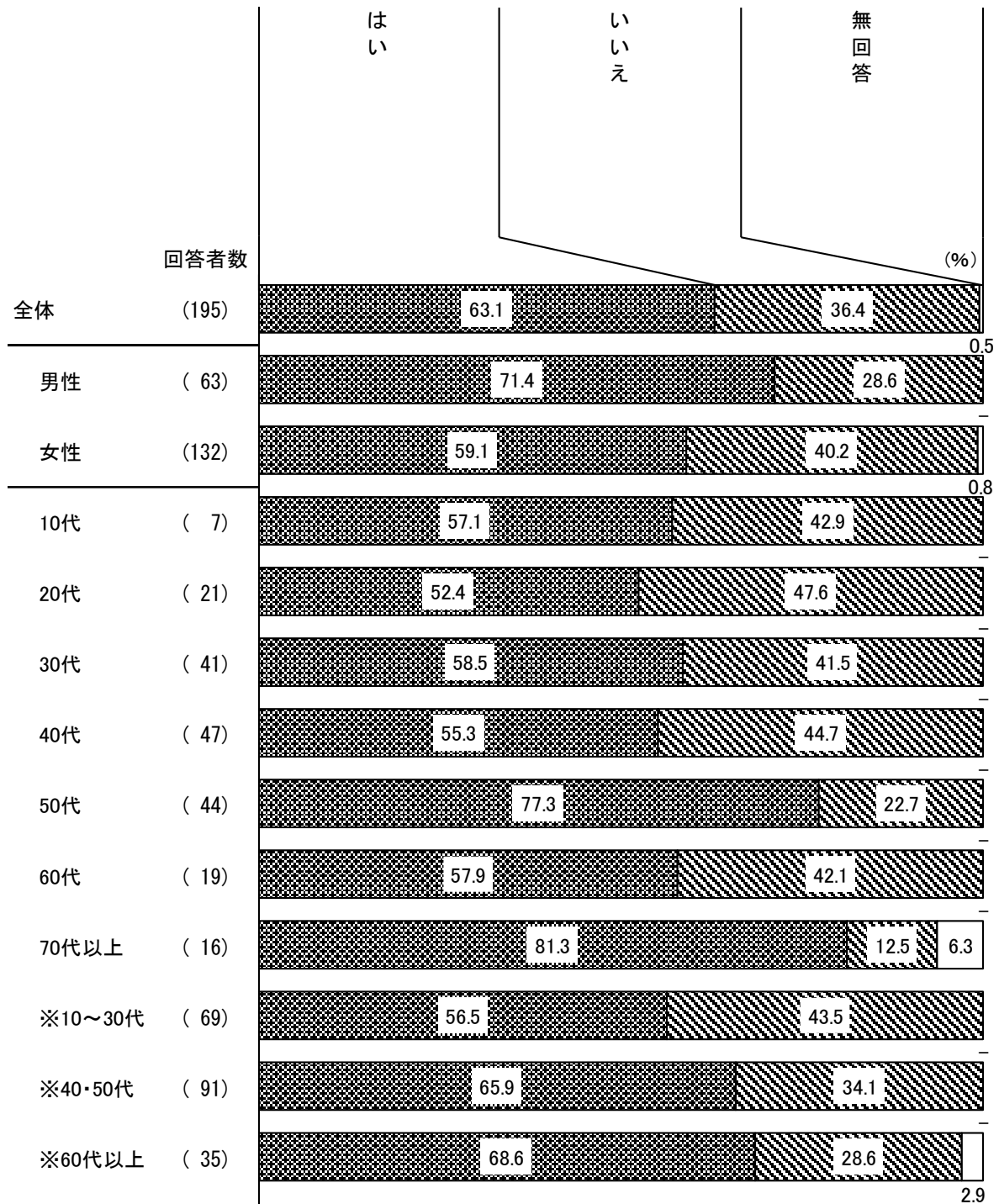
(1) 単純集計

問 20 あなたは、郷土博物館に行きたいと思いますか（○は1つだけ）。



郷土博物館に行きたいと思うか聞いたところ、「はい」が63.1%、「いいえ」が36.4%となっています。

(2) クロス集計／性別・年代別・年代層別



※10 歳刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

郷土博物館に行きたいと思うかを性別にみると、「はい」は男性（71.4%）の方が女性（59.1%）より12.3ポイント高くなっています。

年代層別にみると、「はい」は“※10～30代”が56.5%、“※40・50代”が65.9%、“※60代以上”が68.6%と年代層が高くなるにつれて割合が高くなっています。

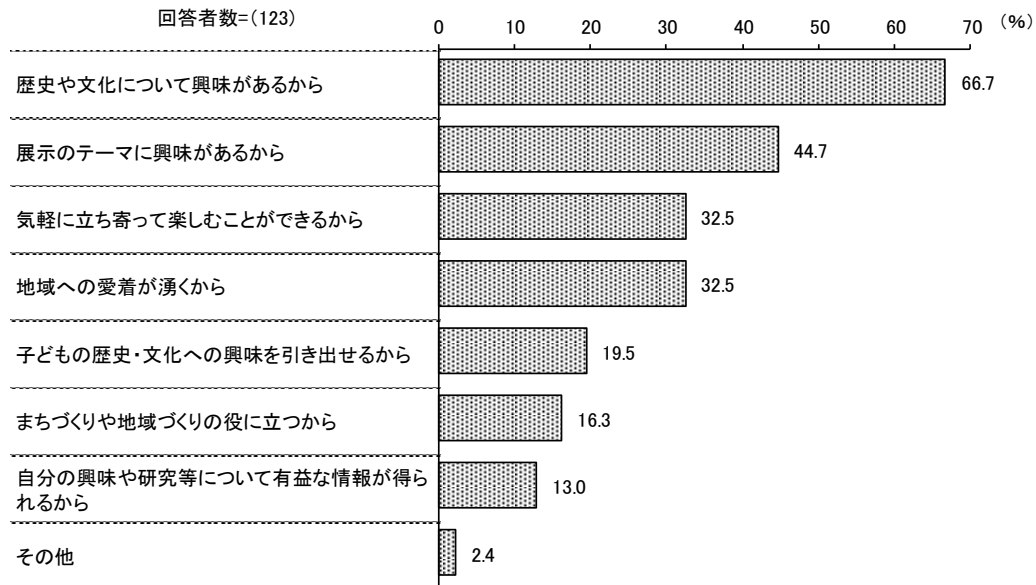
25 郷土博物館に行く目的

(1) 単純集計

(問20で「1 はい」とお答えの方に)

問20-1 あなたは、どのような目的で郷土博物館に行きますか

(○はあてはまるものすべて)。



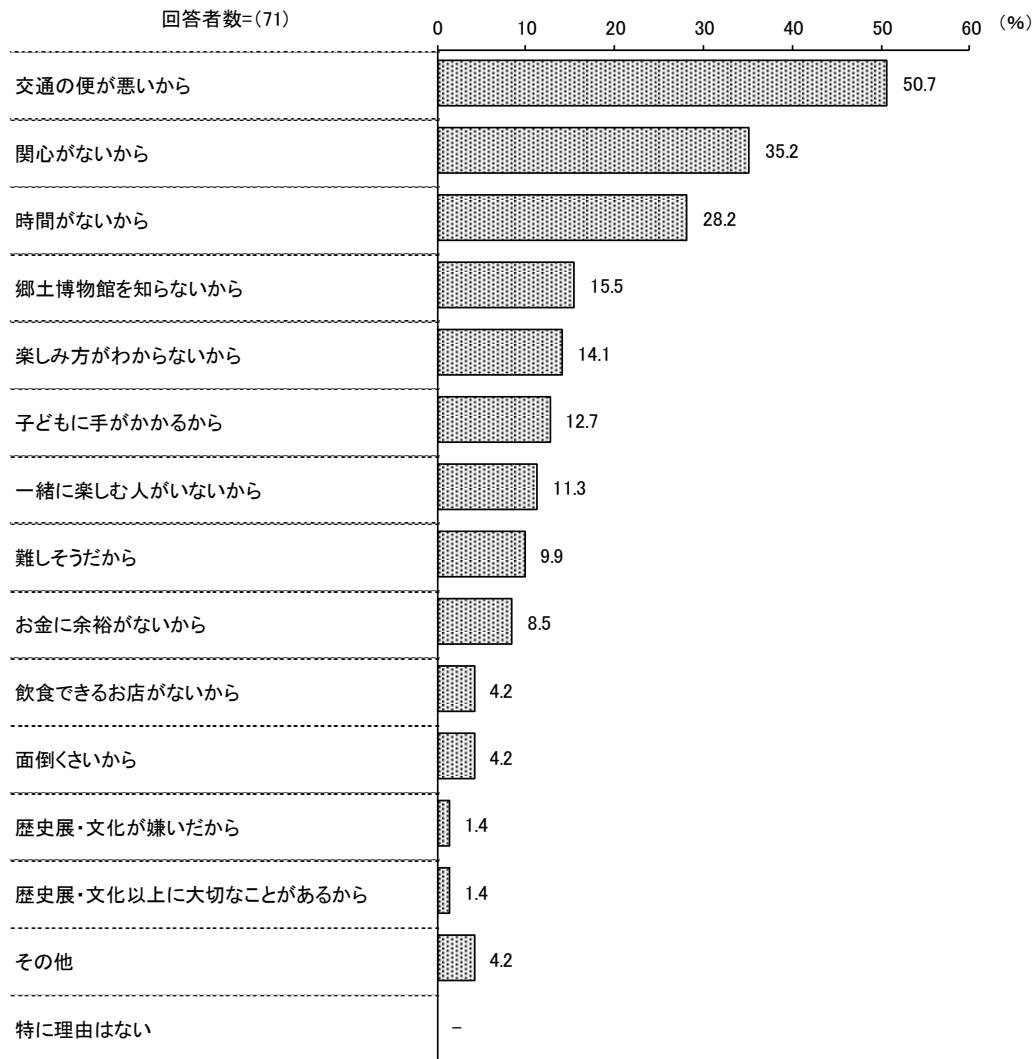
郷土博物館に行きたいと思うかで“はい”とお答えの方に、郷土博物館に行く目的を聞いたところ、「歴史や文化について興味があるから」が66.7%で最も高く、次いで「展示のテーマに興味があるから」が44.7%、「気軽に立ち寄って楽しむことができるから」、「地域への愛着が湧くから」がともに32.5%などとなっています。

26 郷土博物館へ行きたいと思わない理由

(1) 単純集計

(問20で「2 いいえ」とお答えの方に)

問20-2 郷土博物館へ行きたいと思わないのはなぜですか(〇はあてはまるものすべて)。

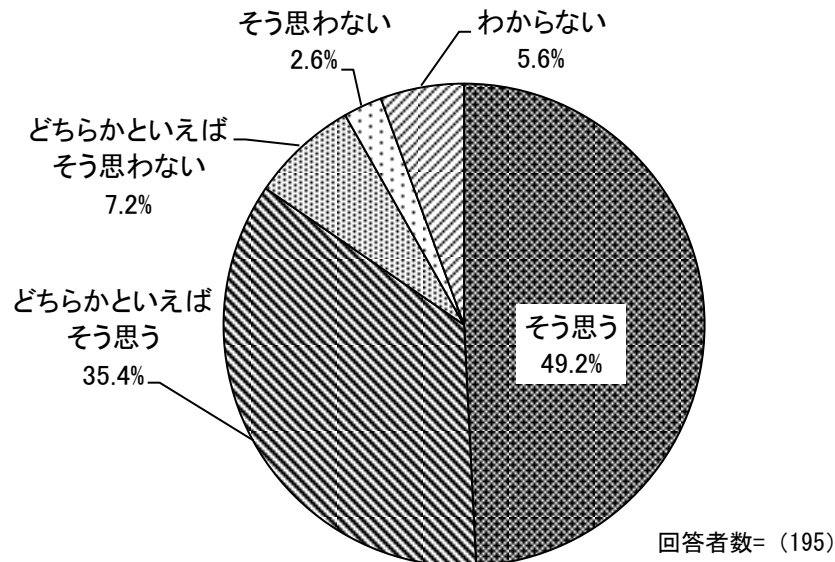


郷土博物館に行きたいと思うかで“いいえ”とお答えの方に、郷土博物館へ行きたいと思わない理由を聴いたところ、「交通の便が悪いから」が50.7%で最も高く、次いで「関心がないから」が35.2%、「時間がないから」が28.2%などとなっています。

27 アンケートの実施が区政の改善につながるかの考え

(1) 単純集計

問 21 あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると考えますか（○は1つだけ）。



今回のアンケートを実施することで区政の改善につながると思うかについて聞いたところ、「そう思う」が49.2%と最も多く、「どちらかといえばそう思う」（35.4%）と合わせた《そう思う（計）》は84.6%となっています。

第 4 章 調査票

モニター番号 _____ 番

(必ず記入してください)

令和5年度 第3回 足立区政に関する世論調査（小規模調査）
《文化芸術事業に対する意識、活動等状況調査について》

ご 協 力 の お 願 い

皆さまには日頃から区政にご支援ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

足立区では、令和2年3月に「足立区文化芸術推進計画」を策定し、当該計画により文化芸術を展開しています。

この調査は、足立区の文化芸術関連事業に対する区民のみなさまの意識や文化芸術活動等の状況をお伺いし、今後の施策に活かしていくことを目的としています。

回答にかかる時間は約10分です。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年1月

足立区長 近藤やよい

□□ ご回答にあたって □□

- 1 質問によっては、○印は（1つだけ）や（あてはまるものすべて）というように数を指定しておりますので、（ ）内のことわり書きをよくお読みください。
- 2 回答が「その他」にあてはまる場合は、（ ）内にできるだけ具体的にその内容をご記入ください。
- 3 本アンケートに出てくる「文化芸術」とは、音楽、美術、伝統芸能、文化財・遺跡、落語、華道、書道、演劇、舞踊、映画などを指します。

ご回答期限：令和6年2月13日（火）



足立区は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



これからお聞きすることは、お答えいただく内容を統計的に分類するための質問です

F 1 あなたは、足立区に関する情報をどのような手段で入手していますか

(〇はあてはまるものすべて)。(回答者数=195)

1 区のホームページ	51.3%	6 A-メール	25.6
2 あだち広報	87.2	7 チラシ	20.0
3 足立区LINE公式アカウント	23.6	8 ポスター	22.6
4 足立区公式 X (旧 Twitter)	20.5	9 その他 ()	3.6
5 足立区公式フェイスブック	9.7	無回答	1.0

文化芸術についてお伺いします

問1 あなたは音楽、美術、伝統芸能、文化財・遺跡などの文化芸術に関心がありますか
(〇は1つだけ)。(回答者数=195)

1 関心がある	89.7%	2 関心がない	9.7	無回答	0.5
---------	-------	---------	-----	-----	-----

問2 あなたは、これまで文化芸術に関する創作や表現などを体験するイベントや講座に参加したことがありますか (〇は1つだけ)。(回答者数=195)

1 ある	50.8%	2 ない	48.7	無回答	0.5
------	-------	------	------	-----	-----

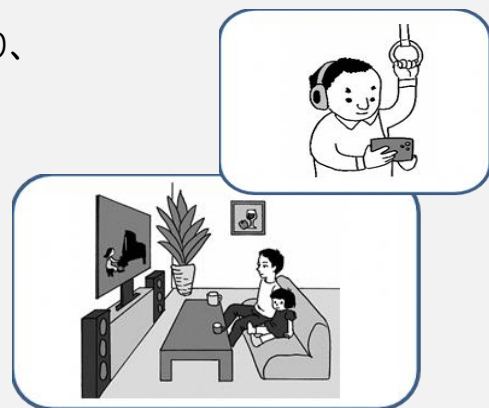
問3 芸術鑑賞について伺います。あなたは過去一年間に、文化ホール・美術館等やイベントに出かけたり、オンライン・WEB・テレビにより、文化芸術の作品を観たり、聴いたりしたことはありますか (〇は1つだけ)。(回答者数=195)

1 観たり・聴いたりした	67.2%	3 しようとは思わなかった	11.8
2 したかったが、できなかった	20.5	無回答	0.5

～「何気なくおこなっている文化芸術活動」～

文化芸術はコンサートホールで音楽を聴いたり、美術館で観たり、教室に通うなど、堅苦しいイメージがありませんか？
しかし、音楽、映画、美術などの鑑賞はお家でも通勤途中でも楽しめていますね。

これも立派な文化芸術活動です。



問4 あなたは、普段から、趣味やサークル活動などの文化芸術に関わる活動をおこなっていますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝195）

1 活動している	27.2%	3 活動したいと思うが、活動していない	20.0
2 過去に活動していたが、今は活動していない	13.3	4 活動していない	39.5

（問4で「2 過去に活動していたが、今は活動していない」「3 活動したいと思うが、活動していない」「4 活動していない」とお答えの方に）

問4-1 文化芸術活動をおこなっていないのはなぜですか

（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝142）

1 時間がないから	54.2%	10 文化芸術が嫌いだから	0.7
2 お金に余裕がないから	36.6	11 面倒くさいから	7.0
3 楽しみ方がわからないから	12.0	12 文化芸術以上に大切なことがあるから	7.7
4 場所や施設がないから	12.7	13 関心がないから	7.0
5一緒に楽しむ人がいないから	28.2	14 その他（ ）	4.9
6 年をとったから	5.6	15 特に理由はない	4.9
7 子どもに手がかかるから	23.2	無回答	2.1
8 病気やけがをしていたから	3.5		
9 新型コロナウイルスの影響のため	9.2		

問5 足立区文化芸術推進計画の施策の進捗状況を把握するための質問です。あなたは、文化芸術について、どのように感じていますか。(〇はそれぞれ1つつ)。(回答者数=195)

	そう思う	思う どちらかといえばそう	思わない どちらかといえばそう	そう思わない	わからない	無回答
ア 足立区の子どもに対する文化芸術事業を評価できる	21.0%	43.1%	8.7%	2.6%	23.6%	1.0%
イ 足立区は文化芸術活動の成果を発揮できる機会が十分にある	14.9	37.4	17.4	8.7	21.5	-
ウ 足立区の文化財・文化遺産・伝統芸能を誇りに思う	18.5	41.5	8.7	3.1	28.2	-
エ 文化芸術に関する区の情報発信に満足している	8.2	38.5	22.6	11.3	19.5	-
オ 足立区の文化芸術の推進施策を評価できる	10.8	42.6	17.4	6.2	23.1	-

ミニコラム

～小学生の芸術鑑賞体験～

昨年度に引き続き、全区立小学5年生（約5,100人）が劇団四季

「ライオンキング」または「美女と野獣」を学校行事として観劇します。

青少年の体験活動は、自尊心や外向性、精神的な回復力等、成長に良い影響をもたらすことが、文部科学省の調査でも明らかになっています。また、区が行ったアンケートの中で子どもたちも「自分と同じくらいの年齢の子の演技を見て、何かにチャレンジする気持ちになった」と答えており、確かな変化がみられます。

足立区の有形・無形文化財についてお伺いします

問6 あなたは、地域のお囃子^{はやし}や獅子舞^{ししまい}などの伝統芸能などに関心がありますか

(○は1つだけ)。(回答者数=195)

※ お囃子・・・お祭りなどで演奏される笛や太鼓など

1	ある	68.2%	2	ない	31.8
---	----	-------	---	----	------

問7 あなたは、地域のお囃子などの伝統芸能を観たり、聴いたり、体験したことがありますか (○は1つだけ)。(回答者数=195)

1	ある	40.5%	2	ない	59.5
---	----	-------	---	----	------

問8 あなたは、機会があれば地域のお囃子や獅子舞などの伝統芸能をやってみたいと思いますか (○は1つだけ)。(回答者数=195)

1	はい	43.1%	2	いいえ	56.4	無回答	0.5
---	----	-------	---	-----	------	-----	-----

(問8で「1 はい」とお答えの方に)

問8-1 あなたが、伝統芸能をやるとしたら、どのような機会を望みますか

(○はあてはまるものすべて)。(回答者数=84)

1	地域のお囃子や獅子舞などへの参加	59.5%
2	家の近くの公共施設(地域学習センターなど)で伝統芸能の体験講座	59.5
3	「あだち区民まつり」「しょうぶまつり」など大きなイベントで伝統芸能を体験	45.2
4	親子で参加できるギャラクシティなどの公共施設で伝統芸能を体験	27.4
5	ホールで区内の伝統芸能の発表を、いっぺんに見ることができる	39.3
6	その他()	1.2

問9 伝統芸能について区からどのような情報発信があるとよいと思いますか

(〇はあてはまるものすべて)。(回答者数=195)

1	あだち広報やホームページで特集記事が見られる	79.0%
2	区内の伝統芸能のパンフレットおよびチラシなどで情報が見られる	41.5
3	ホームページなどで地域のイベントやお祭りの実施時期や場所がわかる	55.4
4	インターネットで伝統芸能がわかる映像が見られる	37.9
5	地域の公共施設でサイネージのCM映像が見られる	22.1
6	その他()	5.1
7	特にない	2.1
8	わからない	2.6
	無回答	1.0

問10 あなたは伝統芸能「文楽」を知っていますか(〇は1つだけ)。(回答者数=195)

※ 文楽(人形浄瑠璃)とは、「太夫(語り手)」「三味線弾き」「人形遣い」の三者が一体となって表現する舞台芸術で、江戸時代から続く日本の伝統芸能です。

1	はい	53.3%	2	いいえ	46.7
---	----	-------	---	-----	------

問11 令和4年に足立区と国立劇場は連携協定を結びました。あなたは、シアター1010で「文楽」公演が行われたことを知っていますか(〇は1つだけ)。(回答者数=195)

1	はい	22.1%	2	いいえ	77.9
---	----	-------	---	-----	------

問12 あなたは、機会があれば「文楽」公演を鑑賞したいと思いますか(〇は1つだけ)。(回答者数=195)

1	はい	64.1%	2	いいえ	35.9
---	----	-------	---	-----	------

(問12で「2 いいえ」とお答えの方に)

問12-1 「文楽」を鑑賞したいと思わないのはなぜですか

(〇はあてはまるものすべて)。(回答者数=70)

1 時間がないから	24.3%	4 難しそうだから	32.9
2 お金に余裕がないから	18.6	5 関心がないから	58.6
3 「文楽」のことがよくわから ないから	50.0	6 その他()	8.6
		7 特に理由はない	1.4

問13 あなたは、有形文化財である古民家に興味がありますか(〇は1つだけ)。

(回答者数=195)

1 ある	82.1%	2 ない	17.9%
------	-------	------	-------

問14 足立区には、区の文化財などに指定登録された古民家がありますが、機会があれば観たいと思いますか(〇は1つだけ)。(回答者数=195)

1 はい	84.1%	2 いいえ	15.9
------	-------	-------	------

(問14で「2 いいえ」とお答えの方に)

問14-1 区の文化財に指定登録された古民家などを、観たいと思わないのはなぜですか。(〇はあてはまるものすべて)。(回答者数=31)

1 時間がないから	25.8%	4 関心がないから	71.0
2 難しそうだから	-	5 その他()	9.7
3 文化財のことがよくわから ないから	35.5	6 特に理由はない	3.2

問15 あなたは、区が発信する古民家などの有形文化財の情報発信や機会の提供が、十分だと思いますか(〇は1つだけ)。(回答者数=195)

※ 有形文化財の情報発信は、区ホームページ、あだち広報、チラシ、ポスター、区長ブログ、SNSなどでおこなっています。また、機会の提供は、古民家での区立郷土博物館出張展示などを実施しました。

1 はい	36.9%	2 いいえ	63.1
------	-------	-------	------

問16 古民家についての情報発信を充実させるために、区に必要な取り組みはどのようなものだと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝195）

1 古民家の保存や利活用の情報を発信する	65.6%	5 パンフレットやチラシなどで情報発信する	36.9
2 地域の公共施設でサイネージのCM映像を流す	25.6	6 その他（ ）	4.6
3 インターネットで映像を発信する	42.1	7 特になし	2.6
4 あだち広報や区ホームページに特集記事を掲載する	74.9	8 わからない	1.0

問17 古民家に足を運んでもらうために、必要な取り組みはどのようなものだと思いますか（〇はあてはまるものすべて）。（回答者数＝195）

1 古民家の公開	64.1%	6 古民家内部など普段見られない場所を見るツアー	47.7
2 古民家のカフェやレストランとしての利用	75.4	7 身近な歴史的建造物を学ぶ講座	23.1
3 古民家を会場としたコンサート開催	33.3	8 プロジェクションマッピングイベント	16.9
4 古民家を会場とした映画上映	18.5	9 外観のイルミネーション装飾	14.4
5 古民家での区立郷土博物館の出張展示会	13.8	10 その他（ ）	5.6

インフォメーション

～「古民家」について～



古い日本家屋や歴史ある建造物などの「古民家」。

千住五丁目にある「旧板垣家」は、和食レストランとして活用されており、街道沿いの歴史的景観を形成していることなどが評価され、

令和4年10月には**国の有形文化財**に登録されました。

足立区立郷土博物館についてお伺いします

問18 あなたは、足立区立郷土博物館（大谷田五丁目20番1号）を知っていますか
（〇は1つだけ）。(回答者数=195)

※ 足立区立郷土博物館・・・現在は改修に伴い休館中

1 はい	51.3%	2 いいえ	48.7
------	-------	-------	------

問19 あなたは、令和4年度に郷土博物館が開催した「琳派の花園 あだち」や区ホームページの「電子展覧会」を知っていますか（〇は1つだけ）。(回答者数=195)

1 はい	21.5%	2 いいえ	78.5
------	-------	-------	------

問20 あなたは、郷土博物館に行きたいと思いますか（〇は1つだけ）。(回答者数=195)

1 はい	63.1%	無回答	0.5
2 いいえ	36.4		

（問20で「1 はい」とお答えの方に）

問20-1 あなたは、どのような目的で郷土博物館に行きますか

（〇はあてはまるものすべて）。(回答者数=123)

1 展示のテーマに興味があるから	44.7%	5 自分の興味や研究等について有益な情報が得られるから	13.0
2 歴史や文化について興味があるから	66.7	6 地域への愛着が湧くから	32.5
3 気軽に立ち寄って楽しむことができるから	32.5	7 まちづくりや地域づくりの役に立つから	16.3
4 子どもの歴史・文化への興味を引き出せるから	19.5	8 その他（ ）	2.4

→ 問21にお進みください

(問20で「2 いいえ」とお答えの方に)

問20-2 郷土博物館へ行きたいと思わないのはなぜですか。

(〇はあてはまるものすべて)。(回答者数=71)

1 時間がないから	28.2%	9 子どもに手がかかるから	12.7
2 お金に余裕がないから	8.5	10 歴史展・文化が嫌いだから	1.4
3 郷土博物館を知らないから	15.5	11 面倒くさいから	4.2
4 交通の便が悪いから	50.7	12 歴史展・文化以上に大切な	
5 飲食できるお店がないから	4.2	ことがあるから	1.4
6 楽しみ方がわからないから	14.1	13 関心がないから	35.2
7 難しそうだから	9.9	14 その他()	4.2
8 一緒に楽しむ人がいないから	11.3	15 特に理由はない	-

→ 次ページにお進みください

ミニコラム ～美術雑誌『國華』に特集されました～

足立区立郷土博物館の「文化遺産調査」による貴重な美術品や資料が、美術雑誌「**國華**」に掲載されました。絵画・工芸作品を中心とする内容で特集されたのは、市区町村単位では足立区が初めてです。

「國華」は現在も刊行が続くものとして世界で最も古い美術雑誌で、イギリスの**大英博物館**や、アメリカの**メトロポリタン美術館**など、海外の名だたる博物館・美術館でも購読されています。ここに掲載されることで、美術品の価値が一気に上がるという、大変に権威のある雑誌です。



『國華』（令和5年5月20日発行第1531号）

問2 1 多数の質問にお答えいただきありがとうございました。最後におうかがいします。
あなたは、今回のアンケートを実施することで、区政の改善につながると思われますか（〇は1つだけ）。（回答者数＝195）

1	そう思う	49.2	4	そう思わない	2.6
2	どちらかといえばそう思う	35.4	（理由：）		
3	どちらかといえばそう思わない	7.2	5	わからない	5.6

インフォメーション ～「身近にある文化芸術」について～

「音楽ライブや観劇は都心に行かないと…」なんて思っていないですか？
実は足立区にも本格的なおススメ施設があります！

シアター1010！



北千住マルイ 11階にある劇場は、
701席（1階553席、2階148席）の客席と
舞台が互いに間近に感じられ、一体感が味わえます。
本格的な演劇やコンサートから発表会など区
民の方にも色々な用途でご利用いただけます。



シアター1010

西新井文化ホール！



ギャラクシティにある西新井文化ホ
ールは、客席数が902席（1階480席、2階
422席）あり、美しい柔らかな音色が響き渡る
ホールです。オーケストラやファミリーコンサ
ートなど、子どもから大人まで幅広い世代が楽しめ
る公演やイベントを開催しています！



西新井文化ホール

～～どうしたら文化芸術を楽しめるの？～～

「本格的な文化芸術はハードルが高い」という方は多いと思います。

そこで、気軽に楽しめる区の事業を一部ですがご紹介します。

1 Webで楽しもう！

(1) 文化遺産調査の情報発信

区の文化遺産調査の成果を身近に感じていただくために、文化遺産調査漫画「**ビビビ美アダチ**」を作成しました。



区公式Xで発信したものを郷土博物館ホームページでご覧いただけます。



(2) 文化財デジタルマップ

地図の中に、文化財や説明板などの場所と解説などを掲載しています。所在地や種類、キーワードで検索することもでき、史跡めぐりに便利です。また、文化財を知るための読み物としてもご利用いただけます。



2 シアター1010で文楽公演

国立劇場（千代田半蔵門）の改修に伴い、シアター1010が「文楽（人形浄瑠璃）」の公演会場として選ばれました。令和5年12月の公演は大盛況で、令和6年5月、令和7年5月の公演も予定しています。

この機会に是非、日本の伝統芸能「文楽」に触れてみてはいかがでしょうか。



3 東京藝術大学連携事業

東京藝術大学の学生や卒業生による**無料コンサート**や動画配信などを行っています。東京藝術大学千住キャンパスのほか、区内施設へのアウトリーチで芸術性の高い演奏をお届けします！！



気になるものはありましたか？ これを機にいろいろチェックしてみてください。



知ると分かる。
すると変わる。

SDGs MODEL ADACHI

